

三田市立幼稚園再編計画（案）意見交換会 （令和3年6月実施分） 意見等及び回答等一覧

目次

藍	・・・	1
本庄	・・・	14
広野	・・・	25
志手原	・・・	32
高平	・・・	37
母子	・・・	52
小野	・・・	56

三田市立幼稚園再編計画（案）意見交換会概要

【藍市民センター：出席者数：12人】

日時：6月19日（土）10：00～12：00

	出席者の発言等（概要）	市の回答等（概要）
A	<p>再編・統合すれば人口減少の抑制につながるのではないかという事は、どういう根拠があって言われているのですか。本当に止められますか。</p>	<p>具体的に今、これをする事によって、これだけの人数が増えるというお話をできるものではないです。市立幼稚園は各地域にありますが、その中で子育てをされる方々が、保育所や民間の認定こども園にお預けになられているという状況が実態としてあります。</p> <p>市立幼稚園は三田、三輪を除いては4歳、5歳のお子さんだけを受け入れていますが、それぞれの園区で、園区内の対象年齢のお子さんの約半分が地域外にある保育施設に通われている状況です。</p> <p>例えば、藍幼稚園の園区内に4歳児は、17人いらっしゃいますが、そのうち1号の幼稚園として通われている方が10人、保護者の就労等により2号の保育所として通われている方が7人、幼稚園に通われている方10人のうち市立幼稚園に通われている方は7人です。市立幼稚園に通わずに子育てをするために保育所や一般の認定こども園に預けられている方がこれだけいらっしゃるという状況です。</p> <p>再編により園の数は減りますが、集約をして保護者の皆さんたちが子どもさんをお預けいただける施設をつくることそのものが、その地域にお住まいいただけるという可能性があるのではないかと考えています。その施設があることで、その地域に住んで、子育てをしてみようとお考えいただければ、長い目で見たときには、結果的に人口が減っていくことを少しでも止める手立てになるのではないかと考えています。</p>
	<p>三田市は森市長になってから市政の流れとしては、病院の問題までクローズアップされています。三田に暮らす人間にとって、元気がなくなる政策が多い感じがする。かつて市長は、病院の問題でモラルハザードが起こっていると言われていました。多分根底にはそういう発想や考え方を持っておられると思っています。</p> <p>三田市では、再編・統合という形、あるいは削減ということで行われている。聞かされる方としては、モチベーションが下がります。特にここで子育てをしようという若い世代。つじが丘は今少しずつ入ってきていますけれども、そういう人たちが元気づけるような政策を提案されて当たり前だと思います。</p>	<p>今の幼稚園の現状を少しお話しさせていただきます。</p> <p>市立幼稚園は10園あり、そのうちの7園が15人未満で、その7園のうちの3園は10人に達していない。本当に小規模化してしまって、幼稚園の子どもたちが遊びたいと思っても遊びが発展しないという状況が起きています。これを何とかしないといけないと現場にいても感じています。何とかして子どもたちが集える場を作りたいという思いを持って作った計画がこの再編計画案です。</p> <p>人格形成を培うこの幼児期に、子どもたちが友だちと関わりながら豊かな経験をしてほしいと願っています。心を通わせる友だちがいっぱいいるということは子どもたちのこれからの人生にとって宝になると思っています。この計画が、決して行革のために作られているものではなく、子どもたちの健やかな成長を願っ</p>

	<p>今みたいな説明ですと、結局は統合なんです。でもちゃんと器があるから何とかなるだろうという発想というのは、どうもピンとこないです。やはり直接的にその人たちを応援する手立てが必要だと思います。</p> <p>でも従来路線の中で、ずっとこういうものが行われている。行政の人たちは、そこに疑問を持って、考え方を少しずつ変えていく必要がある。市民のニーズを把握してもらわないといけない。みんなはこのままでいいと思っているわけではありません。</p> <p>この流れでずっとやられると、どんどん元気がしぼんでいくというマインドを市政が作り出している感じがする。その最たるものがこの再編の問題だと思います。こういう会を開いておられますが、このままで突き進められてしまうという不信感がすごくあります。今までの考え方とは違う発想を少しずつ入れて欲しいです。</p> <p>メディアでしか知りませんが、明石市が注目されているというのは、今までとは違う発想で何かをやろうとしていて、その意気込みが市民に伝わるからです。</p> <p>三田市では、森市長はスマートシティなど、いろいろと言われていますけど、今回のコロナウイルスのワクチン接種の混乱ぶりが最たるものです。デジタル化でみんながコンピュータを使える前提で考えていますが、65歳の方がコンピュータを使って自分でできるなんて、この現実を見るとどれだけギャップがあるか。そんなことも想像しないでやっている。しかも電話の受付はわずかな台数で。馬鹿にしています。そんな認識でいろんなことをやられているのは大きな間違いだと思います。やはり行政側が考えないといけないと思います。これに関しては、真剣に考えていただきたい。</p>	<p>で作っているものだというをお伝えさせていただきます。</p> <p>資料集2ページの市内就学前教育保育施設の一覧の認定こども園をご覧ください。例えば、ふじ幼稚園は定員が258人で在籍人数が217人。北摂中央幼稚園は定員が290人で在籍人数が258人という状況です。4ページのR3年の市立幼稚園の人数合計は252人です。北摂中央幼稚園は258人を1園で運営されているわけです。これは極端な話かもしれませんが、三田市内の市立幼稚園に通われているお子さんの人数を1園で運営することが可能な園もあるわけです。</p> <p>ただ、そうしたことをすることが望ましいとは決して思っておりません。私たちが幼稚園を再編したいと考えている一番大きな理由は、子どもたちそのものの育ちというところを十分に確保して、育てていく、そういう環境を作っていきたいということです。極端な話を申し上げると、再編統合するのであれば、1園で252人の子どもさんを預かる施設も考えられなくはありません。ただし、そのような施設は地域の人たちにとって決して望ましいものとは言えないと思います。</p> <p>人口が減少する中でも、一定の人数がいる子どもたちの集団の中で、子ども同士が育ち合える環境を少しでも提供する、そのための環境を整えていくということは私たちの役割だと思っています。</p> <p>地域の方々に関わっていただいて、子どもたちに体験をさせていただくというのは非常に大きな部分がありますし、見守っていただいているということは非常にありがたいと思っております。もちろん大切なことです。家庭の中での教育も大切なことです。</p> <p>市が公立幼稚園、施設を設置する中で、子どもたちにとってどういう環境が望ましいのかという幼稚園の役割を考えたときには、一定の集団の中で、同じ年齢の子どもたち同士が、たくさんの中で育っていくことを役割として考えていけないといけないと思っておりますし、今限られた人材ではありますが、子育て世帯へのサービスを拡充する中で行っていきたいと考えています。</p> <p>私たちがこの再編計画案をお示ししているのは、行革や財政的効果をとということではなく、子どもそのものの育ちを焦点として考えていることはお伝えさせていただきます。</p>
B	<p>幼稚園から認定こども園になると保育料は変わりますか。</p>	<p>保育料につきましては、一昨年から幼児教育・保育無償化により、3歳以上のお子さんについては無償になっています。再編計画案の認定こども園につきましては、3歳以上のお子さんを対象としていますので基本的には無償となります。</p>

	<p>スライドで 2065 年に 6 万 5000 人。それまでに、またこういう問題が発生することは考えられますか。それとも今回の統合で終わりですか。</p>	<p>今回、再編をすることにつきましては、少なくとも今後 30 年程度は今回の再編・集約をする 2 園の中で対応していきたいと考えております。30 年という数字はひと世代、子どもが生まれて子育てするような世代になる。その 30 年くらいのスパンで考えていかないといけないと思っています。</p> <p>今回は農村地域の幼稚園が対象ですが、農村地域だけに限らず市内の人口減少の局面は始まっておりますので、市街地においても、ひょっとすると、そういったことを考えていかないといけない状況が発生する可能性はありますが、今後 30 年ぐらいは、少なくとも認定こども園に再編・集約した 2 園については、維持していくことを前提に考えていきたいと思っております。</p>
	<p>30 年先までは今回の統合が正解であったということになるわけですね。</p>	<p>今、この再編の話を見せていただいておりますけれども、30 年というのは一定そういうスパンで見えていくのですが、幼稚園を無くすというよりは、新しく作るというイメージを持っております。</p> <p>この人口推計は、このままいけばということです。若年層がすごく出ていっているという状況です。皆さんのお近くのお子様も大阪や神戸、東京などに出ていっている方もいらっしゃるのかなと思います。もしそういった方々の割合が少しでも減っていくと人口減少のスピードが遅くなるのではないかと思います。</p> <p>藍地域では、男女合わせますと 56% 程度の若者が出て行ってらっしゃるのではないかと思います。このスピードを緩めることで、若者が地域に残り、その若者が家族をつくって、この地域で子どもを育てられる。そんな環境を作りたいと思っています。それによりまして、次の再編のありようというか、必要かどうかも含めて考えていかないといけないと思っておりますので、これからの取り組みそのものが重要になってくるかなと思っています。</p>
C	<p>私も保育に関わってきました。人数が少なくなって、集団的なことで子どもたちの成長について言われましたが、10 人でも 15 人でも、少ないかもしれないけども、それなりに子どもたちの学び、成長というのはできると思います。15 人から 30 人、最高で 30 人というのは、一人で見きれない数、複数担任などをされるのかもしれないけども、三田市のことはわかりませんが、子どもが減っている、将来的に子どもが増えないから再編というのは何か履き違えているのではないですか。</p> <p>子育て世代の人たちに魅力のある三田市に残ってほしい、来てほしい。そういう魅力的な子育てに優しい三田市をつくってもらった</p>	<p>そのあたりのことも考えながら作ったのがこの再編計画案だと考えています。幼稚園は公教育です。教育基本法、学校教育法、幼稚園教育要領に則った集団を通した保育・教育をするということが前提になっています。平成 23 年に実施した「集団の規模と担任の指導に関する意識調査」という興味深いアンケート結果があります。子ども一人一人に対する援助、そして集団の中で子どもを育てるという視点でとったアンケートです。</p> <p>幼児教育に携わる方が意識調査の中で、3 歳は 20 人未満の集団が子どもを育てる意味では良い。そして 4 歳・5 歳については 21 人から 30 人未満というアンケートの結果が出ています。</p> <p>これは一人一人の意識ですので、科学的な根拠があるというものではないです</p>

	<p>ら、今は少ない人数かもしれないけども、やっていけないのではないかと思います。今は少し農村部にもコロナの影響もありますし、移住される方も増えてきているというはお聞きしています。そのように三田市に、農村部にすごく魅力があって来てもらっていると思います。</p> <p>私は、子育てに優しい三田市というところに魅力を感じて引っ越してきました。テレビでやっていましたが、市によっては、子育て世代にすごく優しくて、だから引っ越してきました、そして、子どもを3人4人産みましたという話が放送されていました。そこまでいくと、再編する必要はないです。</p> <p>30年後にはこれだけ人が減るといような暗い話ばかりをされるのではなく、この幼稚園の再編から見ても、幼稚園の子どもたちを増やそうと思えば、そのあたりをしっかりと見ていかないといけないのではないかと思います。私には孫もいて、三田市に住んでいるのですが、子どもたちは三田から出て行きます。それは三田に魅力がないというのが半分あると思います。</p> <p>子育て世帯に住み続けてもらうとか、引っ越してもらうためには、すごく魅力のある子育てに優しい三田市にしてもらおうと幼稚園の再編でも変わってくると思います。農村部に引っ越してくる人も、ここに幼稚園があって、地域のおじいちゃん、おばあちゃんと近所の人がとてもアットホームで、そういう地域に根差したものを考えて、集団は大事ですけども、そこらへんを考えながら再編を考えてほしいと思いました。</p>	<p>が、日々子どもたちと関わっている教師が肌で感じているものだと思いますので、こういうことも参考になるのではないかと感じております。</p>
A	<p>それは平成23年ですよ。コロナも含めて、今はみんな意識が大きく変わっているのではないですか。そんなデータ、都合の良いところを持ち出して話をしてもみんなピンときません。</p> <p>あなたが思わないだけで、みんな変わっていると思いますよ。コロナ禍で学校も少人数学級で実施して、その良さをみんな実感しているわけです。平成23年のデータを持ってきて、集団がいるなんてこじつけの話で、今は違うんですよ。</p>	<p>変わっているとは思わないです。</p> <p>コロナは今起こっています。そして距離を空けましょうとか、そういったことの配慮は、学校や幼稚園もしていると思います。</p>
D	<p>距離の問題、直接的な話ですけど、子どもたちが、先生が実感したものがあってあるのではないですか。</p>	

		<p>議論が錯綜しそうなので、論点整理させていただきたいと思います。</p> <p>子どもたちのどのくらいの集団が望ましいのかという、お話しなのかなど。先ほど別の方から5人という人数でも良かったと思うというお話がありましたが、個人的なご意見で構いませんが、幼稚園としては何人ぐらいが適切と思われる数字はありますか。</p>
C	<p>20人か25人くらい。多くても25人。20人ぐらいが理想だと思います。</p>	<p>少ない方は何人ぐらいというイメージで思われていますか。</p>
	<p>10人くらい。今公立は、三田市は4・5歳児さんですね。4・5歳混合保育というのもいいと思います。5人くらいしかいないんだったら、4・5歳を一緒に1クラスにする。4歳児で必要な保育もありますし、5歳児で必要な保育もあります。でも、お兄ちゃん、お姉ちゃん、上の子を見て育つというところはいいのではないかと思います。保育園でも縦割り保育というクラス編成をしているところもあります。</p> <p>コロナのことを言われましたけど、30人は見きれないと思います。子どもたちをしっかりと見ようと思うと、20人くらいが一番いいのかなと思います。私は保育園に勤めていて、幼稚園とは違うので、指導要領とか、ちょっとそことは違うんですけどね。保育園でも集団というのは大切だし、でも個を大切にしながらも集団の中で個を生かし、どんなふう伸ばしていってあげたらいいのかなというのがあります。</p>	<p>今、お伺いする中では、30人は多いのかな、多くても20人というお話だと思います。一方で、10人という話も出ていましたが、例えば、5人や3人、2人というのは、どのようにお感じになられますか。</p>
	<p>幼稚園は地域にあること自体で地域に根差しているというのか、お年寄りの、周りの人の活力にもなるので、隣の幼稚園との交流とかを設けていったらいいと思います。</p>	<p>それは人数が2人、3人と少なくなるようであれば、地域のお年寄りの方々のお力、あるいは他園との交流を増やせばいいというようなご意見ですか。</p>
	<p>そういうことをすればいいのではないかと思います。三田市の農村部にすごく魅力というのか、市立幼稚園らしい魅力のある保育をしていくと、市外からも来てくれるかもしれません。そういう魅力を発信していくのもいいのではないかと思います。</p> <p>もちろん国の教育要領とか、いろいろあることはわかりますが、それもありませんが三田市でいかに子育てして、子どもたち、人口を増やしていこうと今考えられていると思います。そういうとこで、三田市らしい魅力のある幼稚園とかを作っていくらどうかと私は</p>	<p>教育要領の話をお出しいただきましたけど、市内の就学前のお子さんについては、市立幼稚園もそうですけれども、民間保育所や認定こども園も含めまして、3歳児以上の就学前のお子さんの教育というのは、「三田っ子がやきカリキュラム」で基本的には同じのものであって、子どもたちが健やかに育つように教員の情報共有はさせていただいています。それに則って行っているの、そこは民間園でも市立園でも同じです。</p> <p>少なくなっていくたときの対応の仕方として、地域の方々のご協力、あるいは他園との交流というのもご意見としてお出しいただいたと思いますが、毎日子ども</p>

	<p>思います。</p>	<p>もが幼稚園に通って暮らす中で、他園との交流はもちろん重要なことかもしれませんが、もっと言うと小学校接続のための交流も大切かもしれないですけども、毎日というのはなかなか難しい面もあると思います。</p> <p>地域の方々に関わっていただいて、幼稚園では体験できないようなことというのは、もちろん大切なことと思います。ただ、地域の中にいる子どもさんは、市立幼稚園に通われているお子さんだけではありません。そういう意味で言うと、地域の方々に関わっていただくというのは、必ずしも公立幼稚園に行っているお子さんにだけ関わっていただくものでもないのではないかと思います。</p>
	<p>それは分かっています。</p>	<p>関わっていただくとしても毎日というわけにはいかない部分もあるのではないかと思います。</p>
	<p>毎日とは言っていません。そういう経験も地域にあるからこそできるのではないかと。毎日交流しなさいとか、毎日地域の人と関わりなさいということは決して言っていないです。ちょっとオーバーかなと思います。すごく人数にこだわられています、それだけではないと思います。</p> <p>子育てに優しい三田市にして欲しいと思うから、私は残して欲しいと思うし、子ども、人口を増やしていくということも一緒に見ながら幼稚園の再編も考えてほしいと思います。</p> <p>少人数は少人数で魅力のあるものができるし、集団はできないかもしれないけども、大人との信頼関係はすごくできると思います。子どものことを考えたり、今の三田市を考えたら、再編というところをもう少し広い目で見られたらと思いました。</p>	
E	<p>去年まで藍幼小のPTAの役員をさせていただいておりました。私自身、藍幼稚園の園外活動にも、10年以上にわたりまして携わらせていただいております。</p> <p>先ほどから議論を聞いていますと、市政全体の話になっているのかなと感じましたので、実は昨年の説明会の中でも話をさせていただきましたが、まず保護者として、この計画についての現状の考え方を、昨年しっかりと保護者で共有する中で、アンケートをとっておりますので、その概要をご紹介させていただきたい、藍幼稚園のことについて少しお話しをさせていただきたいと思います。</p> <p>保護者の意見としましては、この提案にあります3歳児保育、あ</p>	<p>今、幼稚園 10 園で 252 人のうち、園区外から通われているお子さんは 32 人です。藍幼稚園につきましては、園児数が 13 人、そのうち、3 人が園区外から通われています。</p>

<p>るいは延長保育が増えていくということで、今のご家庭、共働き世帯も多いというような現状の中でいくと、概ねこの計画については評価をされているところです。ただ、不安点としましては、通園の方法であるとかをこれから整理していかないといけないという意見がありましたので、そのあたりも昨年度この場でお話をさせていただいたところです。</p> <p>あとは、この再編後という点でいいますと、私自身、幼稚園に関わらせてもらっているという立場の中で、嬉しい意見であったんですけど、保護者の中で「藍幼稚園の良いところはどこですか」というアンケートさせていただいたところ、地域との関わりの中でいろんな体験ができるということが、非常に評価をいただいているところでありました。新しい園になりましても、そういう地域との関わり、良さというのは、園区が広がるということはありませんが、引き継いでいってほしいというのが保護者の願いでございました。そういったことも含めまして、保護者の思いをくみ取りながらより良い園運営に務めていただけたらなと思っております。</p> <p>今の状況だけ確認をさせていただきたいのですが、藍幼稚園におきましても園区外のお子様を通園されているケース、ほとんどがつつじが丘だと思いますが、園区外のお子様と園区内のいわゆる藍小学校区のお子様との割合というのは、資料がありますか。</p>	
<p>ありがとうございます。年度によっては、園区外のお子さんの方が多かった年もあったかと私も記憶しております。昨年の説明会でも、保護者やPTA代表としてご要望ということで発言させていただいたんですけども、今の計画というのは基本的に園区内の子どものことを中心にということであったかと思えます。</p> <p>余力があればという話ではありましたけれども、園区外、つつじが丘から藍幼稚園を選んでいただいたという点でいいますと、藍幼稚園の教育の良さというのを評価して来ていただいているかと思えますので、できるだけそういった園区外のお子様のご家庭からも評価いただけるような良い園にさせていただきたいと思えますし、ご希望があれば、できるだけ受け入れていただけるような体制を作っていただきたいとお願いをいたします。そういったところもご検討いただければと思います。</p>	<p>今おっしゃっていただいたように、昨年は事前にアンケートを取っていただく中で、いろいろご意見を頂戴しているところです。</p> <p>お話にありましたように、再編すれば園区が広がりますけれども地域の皆さんとの関わりというのは、子どもたちが園外へ出て行ったり、地域の方が園にお越しいただくという形で、関わりは十分に残していくべきものであろうと思っております。そのためには、この計画案の中には、そのことも盛り込んでいかないといけないと認識しております。</p> <p>園区外のお子さんの受け入れに関して柔軟な対応を望むということですが、そういった点につきましても、今後、検討していかなければいけない内容ですので、計画案の中に皆さんと協議していくこと、あるいは柔軟な対応をしていくというようなことを盛り込んでいかないといけないと考えております。</p>

F	<p>日出坂から広野まで通園バスを出していただけるようなお話でしたが、普通に行って15分かかります。通園バスでいろんなところを周ると30分以上かかるのではなかとと思います。保護者にとっては送り迎えが無くなって楽かなと思いますが、3歳、4歳の子どもにとって通園距離が長くなる、時間が長くなるというのは、それが負担にならないのかという不安がありますので、送迎のルートを検討いただけたらなと思います。</p> <p>少しでも子どもの負担にならないようお願いいたします。</p>	<p>おっしゃられているとおり、通園時間が長くなれば、子どもさんの負担がかかると思っております。昨年度、実際に在園されているお子さんの自宅付近の主要道路のところを回らせていただいたところ、ゆっくり走って長くても40分以内となっております。実際はもう少し短い時間で回れると思っております。</p> <p>認定子ども園が開園する前年度には実際に入園するお子さんのお住まいがわかりますので、その状況を踏まえまして、通園時間とルートをどうするのかは、地域の皆さんと一緒に考えさせていただきたいと思っております。</p>
G	<p>資料を見ていたら、人口が減っている、子ども的人数が減っている、そんな言葉ばかりで希望がないです。子どもはやっぱり希望です。人口が減っているから、三田市はこれだけ努力しているというのがこの資料にはないです。</p> <p>市長はよく子育てのことを市報に出されています。子育てするなら三田というのは、よく覚えています。市長も一生懸命、子育てに関することを発信されていますが、資料を見ていたら子育てをする器、要するに館が減るというのですが、器がなかったらできません。</p> <p>資料を見ても、三田が努力して、もっと地域の人、若い人が仕事で大阪に出て行っても、子育てはやっぱり三田がいいと戻ってくるような魅力的なことがないです。</p> <p>幼稚園に始まったことでなく、小学校も統廃合の話があります。そんな人たちが三田はこんなことしてくれると言ったら絶対戻ってきます。そういうのがないです。</p> <p>私も幼稚園に以前勤めていましたけども、集団というのは大事ですけれど、北欧の教育は、15人、10人からやっていますので羨ましいです。日本は小学校の定数が40人からやっと35人になりました。それがおかしいです。減っているからこれで我慢しろとって、一つも三田市が努力してない。</p> <p>人口の戻りというのは市政の問題だと思います。人口が増えている明石市長は本当に子育てのことを考えておられます。他市ながらあっぱれだと思います。</p> <p>私が幼稚園に勤めていたときは園児数が多かったですけれど、保育は人数が減ってもできます。子どもの育ちといたしますけど、聞い</p>	<p>人口が減少している状況をお示ししている表ですので、その状況だけをご覧いただく中では前向きな希望を持ってというお話にはならないのかなとは思いますが、</p> <p>そういった状況を防いでいく、少しでも良い状況にしていくというところがこの再編ではないというご意見だったかもしれません。私たちとしましては、この再編によって少しでもそういった状況が改善できるのではないかと考えているところです。いろんなご意見、考え方の違いというのはあるとは思いますが、決して後ろ向きな気持ちでこの再編計画案を示しているのではないということは申しあげさせていただきます。</p>

	<p>ていたら、人数が少なかったら子どもは育たないというイメージがあるみたいで、決してそんなことはありません。人数が何人であろうと保育はできます。</p> <p>もう一つ、バス通園のことですが、バスに30分とか40分とか乗っているのは考えられません。子どもをそんな長い時間、バスに詰め込むというのですか。それなら台数を増やせば、1台で40分なったら2台にしたら半分になります。</p> <p>もっと子どもを大事にする。子どもが大きくなって三田がいいと言って、そこで子育てがしたいという希望も持つようなことは考えられないのですか。一つも見えてこないです。</p>	
D	<p>中学校の統廃合でかなり問題意識を持って幼稚園も見せていただいています。藍幼稚園にしてもとても自然豊かないいところであって、それを統合していくというのは本当にもったいないと思います。多分今通わせていらっしゃる方たちもすごくそういう思いがあるのではないかと思います。</p> <p>自然環境の中で子どもを育てるように応援してくださっている人たちが今日初めて知って、いい環境で子どもたちが育つようにいろんな配慮があったんだと改めて思います。</p> <p>私も子どもをいろんな幼稚園に通わせていました。1クラス13人ぐらいの小さな幼稚園で、園舎も広いわけではありませんでしたが、みんなすごく仲良くて、毎日木登りばかりをしていました。</p> <p>転勤して、街の真ん中の幼稚園に下の子は通いましたが、ものすごいマンモスの幼稚園しかなく、1クラス40人近かったです。子どもは驚いてしまって、毎日幼稚園のお部屋の片隅で震えていたと言われました。集団で、というのを聞くと、いつも子どもの幼稚園のことを思い出してしまいます。</p> <p>今、中学校では切磋琢磨ということをやたらに言われるのですが、本当の集団とは何なのかというのが根底にあります。10人くらいでも人間関係を、豊かに子どもを育てることができると思います。三田市は何かというと一定人数がいけないといけなと言われるんですけど、大人数が子どもの人格形成にプラスになる、人数さえいればいいというような考えはやめてほしいと思います。</p> <p>市の政策というのは、何十年後かにこのようになるというシビア</p>	<p>3園を一緒にしたとしても、その中で子どもたちがどんなふうに学んでいくなか、地域の方々と関わりながらということも含めて、前向きな内容になるようにお示しできるようにしていきたいと思っています。</p> <p>藍幼稚園では豊かな自然環境の中で成長していると思っています。どこの幼稚園がよくて、どこの幼稚園が悪くてという話ではなく、市内の市立幼稚園はどこも豊かな環境の中で地域の方々とも関わらせていただいて、子どもたちにとって良い環境であるというのは、おっしゃっていただいたとおりであり、ありがたいことだと考えています。ご意見にありました前向きな形で、希望が見えるようにお示しできることを考えながら計画案をきちんと作っていきたいと思っています。</p>

	<p>な見通しかもしれませんが、そこに子どもたちを三田市ではどのように育てるかというものがない。</p> <p>こういうときだからこそ、幼稚園の教育をなさっているところも、今の良い環境をもっと大事にした、4歳・5歳児がみんな一緒に育つような発想で、政策を提示して欲しいと思います。三田市は子育てについて、この豊かな自然環境で地域の人たちの応援を得ていくようなものを市民に示して欲しいと思います。</p> <p>人数の心配ばかりではなく、市政のあり方というのをもっと私たちに示していただかないと、私たちはほんとに暗くなるばかりです。</p> <p>子どもたちを増やしていく、若い人たちを呼び込める、何が本当にきっかけになるか、力になるかということ。明石市の話が出ていましたけど、明石市長からよく学んで。周辺で子どもたちを増やしている、減ってばかりじゃない市があるでしょう。そういうところにもっと学んで提案をしていただきたいと思います。それは現場の人たちの力になると思います。</p> <p>何か数ばかりでは情けないです。これでは藍中学校も統合しなければならないみたいな話になっていく。</p> <p>私は危機感を感じています。現実を認める話ばかりではなく、こうしたら良くなるというビジョンをもっと私たちに示していただきたいです。この3園を一緒にしたら、本当に子どもたちにとっていい環境になるのかということをもっと示していただきたいです。</p>	
A	<p>この再編計画は、こちらの意見も取り入れて、良いもの作っていったと言われていましたが、本当に変える気持ちはありますか。変更の余地はありますか。再編ありきでこのままで進むのですか。</p> <p>こういう公聴会を開いているわけですから、行政側でこんな意見が出ている、三田の魅力、自然がいっぱいだとか、地域の人間との関わり、それを入れ込んだ再編計画にする気はありますか。住民の意見を本当に反映する気はありますか。</p> <p>いいとこだけとって返事になっていないと思います。再編計画に地域との関わりを入れましょうとか。でも市は、この計画案自体はこのまま進めるんですよね。</p> <p>行政の主体は市役所ですか、住民ですか。</p>	<p>保護者の方からもありましたけれど、地域の方々との関わりや通園バスのことなど、ご意見として入れていかないといけないところは、留意する事項として、実施に向かって担保していくためには計画の中に入れていかないといけないと思っています。</p> <p>私たちとしましては、いろいろと検討する中でまとめてきたものですし、この計画案で再編をしていくことが最も望ましいと考えてお示しています。</p> <p>今回の計画で申しあげますと、子どもさんの育ち、学びというところになりま</p>

	今聞いているとそこの視点が全然違います。やはり人数みたいな話になっているのではないですか。この計画の一番の根本。人口減少もここまできているのではないですか。これを食い止めるために、この再編統合みたいなどこでもやっているような話を持ってきても上手くいくはずがない。だからそこに工夫がいるのではないですか。	す。
G	住民の声を聴くために来られたんでしょ。声を聴かないで再編を進めますというのなら、何のためのこの場ですか。この計画はまだ案ですよ。	今のご意見としてはこの再編計画を取りやめたらどうかということでしょうか。
A	住民の意見も入れて見直しもありますかと聞いています。	<p>見直しの内容というところについて、今我々がお示ししているのは、公立幼稚園を作ったり、クラス編成したり、あるいは今の規模が適正なものかを判断するための一定基準として、15人から30人を設定させていただいたということです。クラス編成の基準が5人でもいいということであれば、5人単位でクラス編成をしていかないといけないわけです。そうするとクラス数が増えて、先生の数や部屋の数も増えるということもあるわけで、それは市によって財政状況も変わりますので、できることとできないことがあるだろうというふうに思っています。</p> <p>今は10人以下の園も増えてきているし、いわゆる小規模園が多くなってきている現状を見る中で、子どもたちの育ち、子どもの学びというときに、子どもが友だちや仲間を作って、共に刺激し合いながら成長していくことは非常に大切ではないかと思っています。それが今、少ない園では、園児が2人の幼稚園も公立の中ではありますので、その学びの機会をどうしても確保しておく、そういう形にしておきたいというのが我々の願いであります。</p> <p>皆さんがおっしゃるように、2人や3人の幼稚園でもいい、このまま置いといて、それで十分教育できるということになりますと、もちろん現在の幼稚園の教員たちは一生懸命やっておりますので、いろんな足りないところについてはフォローしながらやっています。ただ、子ども同士の学び合いをどうしても確保をしたいというのが趣旨でございますので、その根本のところを変えるのかと言われると、考え方自体を変える予定はないということです。</p> <p>ただし、今いろいろご意見を頂戴していて、先ほどPTAの方もおっしゃられましたけれど、いろんなご不安やご懸念な点がこの再編計画案の中に盛り込まれていない部分もありますので、それは我々もお約束するという意味で、再編計画案については見直しを提案していきたいと我々事務方として思っているところでございます。</p>

		<p>ネガティブなことばかりでというお話もいただきました。ただ、我々行政職員で実務家ですので、これから何が起るのかということは夢ではなく、正確に事実を一定推定しなければならないと思っています。それを踏まえたうえで、どんな夢を描くのかということを考えなければならないと思っています。</p> <p>人口減少というのは我々にとっては厳しい状況です。それは地域の皆さんにとっても市役所の人間にとっても同様です。これを何とかしたいと思っているのは皆さんと同じです。その一つの方法として、もちろん子どもの学びを保障するのとあわせて、子育てがひょっとしたら農村地域ではしにくい、皆さんニュータウンや既成市街地まで子どもさんを送り迎えしているのではないかと考えているところがございます。今の幼稚園から少し遠くなるかもしれませんが、ちょっと行くところに作らせていただくことで、そういう方に地域に少しでも残っていただけるのではないかとことを願っているところがございます。</p> <p>決して希望や夢を失ったわけではありません。推計を見ながら、今我々が持っている資源を最大限活用して、できることはこれだということでお示しをしているところです。ご懸念の声や課題に思っていることについては、なるべく再編の具体化をするにあたっては考えていかなければなりませんし、その部分での再編計画案の見直しするというのは、我々も考えてまいりたいと思います。</p> <p>一点だけ補足をさせていただきますと、住民の方の意見を聞かないのかということをおっしゃられたのかなと思いますが、PTAの方もおっしゃいましたけれども、ご意見の中には賛成というご意見があります。先程の保護者の方がアンケートをとられた中にも出ておりますので、全てではないにしても賛成されている方もいらっしゃるということだけはお伝えさせていただきます。</p>
E	<p>先ほど出ました今後どういう夢を持って希望のある地域にしていくのかという中で、藍地域のことを我々も考えていかないといけないうのかなと。まち協の座談会の中でも、私も参加させていただいていろいろ話をしているところです。</p> <p>今回の計画についても、これを逆手に取るというとおかしいですが、地域としてもこれをチャンスと捉えて生かしていかないといけないなというふうに考えています。</p> <p>その中でいいますと、この計画の最後にちょっと触れてありますけど、跡地の利用のことについてです。今の藍幼稚園は、多分ご承知だと思いますけれども、ここにも何人か顔を出していますけど、地域の方や保護者の方も一緒になって園庭の芝生など、非常にきれ</p>	<p>おっしゃっていただいたとおり、藍幼稚園は小学校隣接の立地でございますので、跡地活用につきましては今のところを十分計画の中で研究しながら進めていきたいと思っています。</p>

	<p>いなコンディションを維持しています。また、まち協で園庭にある桜を見る会をやってみたり、ちょっとコロナでなかなかそういうことが出来ていないですけど。非常にいい環境ということで、施設として何か地域にとって良い影響をもたらすようなポテンシャルを持っている非常に良いコンディションのところだと思っています。</p> <p>ただ、これは他の園と違いますが、学校の敷地内にあるということで、跡地の利用を考えていく中で非常にハードルの高いものになっていると思っています。この計画どおりでいくとすれば、令和5年ということで、あと2年ちょっとですので、そういった跡地の利用をどうしていくのか。どうしても学校現場とセットになってくると非常に使いづらいという現実問題もございますので、そういったところも含めて、地域といろいろ意見交換ができればと思っています。</p>	
G	<p>私はこの再編について非常に期待しています。早くやってもらえないかと思っています。どうしてかと言うと、私は放課後子ども教室をやっています。藍小学校の3階でやっているのですが、クーラーもなく、寒い。今は15人ほどで運営していますが、藍幼稚園の跡地を利用して、部屋を一つでももらってしたらいいのではないかと思います。</p> <p>もし子どもが広野の方に行ったら藍幼稚園に送ってもらって。子ども教室は午後2時半から午後4時半までやります。午後4時半になったらバスが来るので、そのときに子どもたちもお兄ちゃんやお姉ちゃんと一緒に帰ったらいいかなと。宿題をしたり、マジックやサイエンスショーをやったりしていますが、藍幼稚園は使いやすいから非常に良いです。一つだけでも教室をもらえるようになるというのと楽しみにしています。うまくいかないかもしれないけど、私自身はこういうことがあったら、一緒にやろうよということを計画しています。</p>	<p>ありがとうございます。積極的なご提案だと思えますし、幼稚園の園舎の状況も十分にご理解をいただいたうえで、ご発言いただいていると思います。本当に参考にさせていただきながら、進めていきたいと思っております。</p>

三田市立幼稚園再編計画（案）意見交換会概要

【ふれあいと創造の里：出席者数：22人】

日時：6月19日（土）15：00～17：00

	出席者の発言等（概要）	市の回答等（概要）
A	<p>3つ意見というか、私の思っていることを言わせてください。一つは、望ましい幼稚園の教育というか、規模なのかわかりませんが、私のことと言うと、思い出として残っているのは、小学校の低学年、中学校ぐらいからで、幼稚園という、多分皆さん、あまり思い出がないと思います。なぜかと言うと、幼稚園の時期というのは、全てを受け入れて、自分の中に取り込んで、自分の成長の糧にしていくという年代です。一番大事なものは、自分が大事にされたという思いと安心できる場所を持っていたということ。人生の最後まで一番大事にしていかないといけないのは、そこではないかという気がします。多くの人数の中で共存したり、いろいろ揉めごとを経験したりするのは、もっと後で十分です。先程の話で言うと、思い出として心に残っている小学校3年生のときにこんなことがあったというのが、他の人との関わりの中で、勉強していかないといけないということになると思います。</p> <p>話を聞いていると、そうではなくて幼稚園の段階でそれを学ばせたいというふうに聞こえますが、それは間違っているのではないですか。</p> <p>ある大規模の幼稚園では、運動会の練習をするときに、あんまり人数が多すぎて、先生がそれぞれの子どもの名前が分からないので、番号が付いていて番号で呼ばれる。これはどう考えても幼稚園の状況ではないという気がします。</p> <p>私は本庄幼稚園によく行きますが、こちらもすぐ名前がわかりませんし、子どもも私の顔を覚えてくれているから話をしてくれます。これが15人や30人となるとそういうわけにいかないです。私はたまに行くからそうですが、先生方にとってもそうではないかという思いがあります。一番言いたいのは、幼稚園の年代で一番子どもたちに身につけてほしい、あるいは一番体験してほしいというのは、思い出などの後に残るものではない部分が一番大事ではないかと私は感じています。意識しないでも自分の中に貯まり、自分を形成し</p>	<p>幼児期に経験したことを取り込んで糧にしていくというのはまさにそのとおりです。幼児期の経験というのは、これから生きていく上で基礎となる部分を育てるために重要です。大人に大事にされて安心感を持つということは本当に人間の根本になっているところで、愛着を持って、人から大切にされているというところがあって、他の人と関わっていけるようになるというのはまさにそのとおりです。ですが、子どもは3歳ぐらいになると社会性が大きく育つ時期とも言われていますので、大人に大切にされるだけではなく、大人に見守られながら友だちと関わっていろいろな経験をしていく時期でもあります。</p> <p>本庄幼稚園の良い部分についてどう思っているのかということですが、本当に地域の皆さんには、幼稚園の活動等にも様々にお力添えいただいて大切に育てていただいております、一緒に育てていただいていると思っています。そういう部分を大切にしながら、子どもは子どもの中で育つという部分も大切に考えていかないといけないと考えています。</p> <p>小学校との連携についてですが、幼稚園から小学校に上がるときに、できるだけスムーズに抵抗なく入っていけるように、送り出す側と受け入れる側が連携しながら子どもさんのことを大切に、丁寧に引き継ぎをしていきたいと思っています。</p> <p>公立が私立に負けるのではないかというお話がありました。本庄幼稚園でもやってきましたが、子どもの多様な体験を大切にしようという公立幼稚園がこれまで積み上げてきた良さを生かした認定こども園をつくりたいと思っています。そういうところで子どもが育つなら公立の認定こども園に行かせたいと選んでいただけるような認定こども園をつくっていきたくて考えております。</p>

	<p>ていくもととなっているものが、幼稚園の時代では、私たちが子どもたちに与えるべきものではないかと思っています。だからあまり人数は関係なく、本当に子どもたちが大事にされているかどうかということが一番大事と思っています。</p> <p>本庄の場合は人数が非常に少ないですが、地域の力添えていろんなことをやったださっています。こんなに地域の支えを受けながら育てている子どもたちは多分、三田市にはないと思います。その本庄幼稚園の良い部分をどのように評価されているのか全然聞こえてこないです。人数が少ないから一緒にさせますというのはよく聞きますが、もっとそこを評価して、計画を提示していただきたいと思います。</p> <p>小学校との連携もすごくうまくいっています。本庄幼稚園に来ていない子どもが小学校で一緒になるところは少し気になるところですが、本庄小学校とずっと一緒に活動している本庄幼稚園の今のあり方というのは、私にとって理想に近いと思います。</p> <p>もう一つ、気になることは、認定こども園にして公立で他の民間の認定こども園に勝てるのですか。長時間の保育を希望されている方が多いから三田市はそうしますと言われていますが、民間の方がもっと親の希望に寄り添った形にどんどん変えていきます。その中で認定こども園にしますので来てくださいとってどれだけ増えるのかという見通しを聞かせください。意見としては反対です。</p>	
B	<p>今回が初めての参加で前回の説明会のことがわかりませんが、賛否については何とも言えないところではあるのですが、説明の中で気になった点について聞かせてください。</p> <p>平成13年から令和2年までの人口推移の表で、0歳から5歳児は平成13年から令和2年までで7割ぐらいに減っています。市立幼稚園の園児推移数の表では、平成13年の834人から令和2年が281人で約30%となっています。この約20年間で、市の人口のうち、その該当人数が7割に減る中で、園児数は3割にまで減っています。この理由は何ですか。</p> <p>待機児童数を考えながら時間的にもっとフレキシブルに対応した方がそう望む人がいるようだとおっしゃっていましたが、データだけではなく実際に待機児童で待たれている方や私立に行かれてい</p>	<p>園区内の子どもさんがいろんな施設に通われているという状況をご確認いただきましたが、保護者の方々が施設に通わせられる目的が変わってきていて、公立幼稚園の午後2時までお預かりするだけでは対応できないというところが大きな理由ではないかと思っています。そういうところもありまして、この再編計画で認定こども園化し、保育所機能を追加したり、幼稚園として通われるにしても週5日の預かり保育を実施していくということを考えています。</p> <p>先程の言われていたのは、就学前の園区内の子どもたちが、今、どういう施設に行っているかということだけではなく、実際に通うであろう人たちにもこういう施設だったらどうですかということまで確認しておいた方がいいのではないかと思います。</p>

	<p>る方にヒアリングをしたことはありますか。生の声は、データを見て判断するのと意外とずれている可能性もあります。幼稚園のこういう計画は1年や2年で簡単に変更するというわけにはいかない。最低でも5年、10年、20年という長いスパンで見ていく中で、最初のデータ取りで見誤ってしまうと取り返しがつかないのではないかと思います。</p> <p>私の子どもは中学生ですが、2040年は20年後なので、子どもは結婚して、孫が幼稚園に行く頃だと思います。単純に先ほどの数値をそのままスライドさせると、今度は孫のときにまたするのかなというイメージがあります。現状をどうしますというのはわかりますが、5年、10年、20年先がどうなるかというのが見えません。</p> <p>小学校も児童数が同じようなグラフの推移をたどれば、結局は再編というのが頭をよぎるのではないですか。幼稚園だけで見れば、保育は2年だけですけど、小学校は6年、中学校は3年と計11年、こういうことが付きまとう可能性があるのではないかということも見えてきます。そう考えると、先の計画というのも明確にしていたかかないと、後々にまた、という形になるのではないかという懸念を聞いている中で持ちました。</p>	
B	<p>待機児童の人がなぜ待機しているのか。市立保育園にも私立保育園にも行けないから待機しているというのであればそれはわかりますが、もしかすると私立には行きたいけど、市立には行きたくないということかもしれない。なぜ待機していて、どうしたら待機しなくなるのかということヒアリングするなどして調べられているのかというところが説明の中では見えなかったものでどうなのかなと思いました。</p>	<p>通いたい施設というのはそれぞれ保護者の方の希望があります。待機児童というのは施設に入所したいのに入れないという状況で、基本はやはり受け皿の整備が必要であると思います。保育施設が受け皿として存在していることが対策であると思いますので、新たに民間施設ではありますけれども、令和4年4月にゆりのき台に保育所が開設されます。そこは120人規模の保育所になりますので、受け皿としてはかなり大きなものになるのではないかと考えております。</p> <p>現在のところ、公立幼稚園を認定こども園化し保育所機能を持たせることで、少なくとも今いらっしゃる保護者の方たちに、認定こども園にするとお越しになられますかということをお尋ねしたことはありませんが、本庄幼稚園区内にいらっしゃっても保育所や民間の認定こども園にお預けになられている方がいらっしゃいます。再編・集約することによって、本庄幼稚園が認定こども園になるわけではないですので、物理的に距離が遠くなる部分もあるにしても、保育所にお預けになりたい方が市街地やニュータウンまで行かなくなくても、少なくとも広野まで行けば、お預けいただけるという状況があれば、少なからず保護者の方にとってもある程度の支援になってくるのではないかと考えています。</p>

		<p>2040年には0歳から14歳の子どもさんが、1万5千人弱から1万人近くに減ってしまうというお話をさせていただいております。認定こども園2園に集約する前提で、お話をさせていただいておりますが、利用時間を長くして、より多くの方がご利用いただき、この先また減ってしまって、また何かしないといけないということがないように、今後のコストのこともそうですが、少なくとも今後30年ぐらいはこうした形のものを残していけるようにというところも念頭に置きながら、計画案をつくっていかないといけないと思っております。なぜ30年かというところ、お子さんが大きく育てられて、また次にお子さんのお生まれになるサイクルの中で考えていかないといけないと思っております。</p>
C	<p>資料3ページの地図を見て思いますが、場所は広野と志手原で本当に適正だと思いますか。三田市の広さを考えたら、ちょっとずれている気がします。せっかく農村部という言葉を使っていますが、これは人口の話ではなく、農村部合わせですか。広野と志手原は少し違う気がするのですが、ここをもう少し詰めることはできないのですか。ゆりのき台にまた大きいのができます。残すところは広野でしょうか。長い目で見るときにどう思われますか。</p>	<p>広野や志手原よりも、もう少し立地として考えられるところがあるのではないかとこのご意見ですね。例えば、具体的な場所について意見をお持ちですか。</p>
C	<p>私は本庄の人間なので本庄とは言いたいところですが、地図だけを見ると、北側があまりにもすっからかんな。東西の話ではなく、人がいるところという今、三田は南ばかりではないですか。広野なのかなと。</p>	<p>今回幼稚園を再編・集約するわけですので、幼稚園が立地している園区の方々からすると、どこの地域においても幼稚園は地域の方々非常に大切に思っていますので、ありがたいことだと思っています。言いにくいことでしたが、本庄幼稚園という思いはもちろんお持ちだと思います。私どもは、人口で考えて南部ということではなく、幼稚園機能ももちろんですけども、認定こども園にすることによって保育所機能を持たせようとしています。</p>
	<p>箱の話ですか。</p>	<p>箱の話ではなく、そこにお預けに来られる利用者の方が保育所機能として使われるところを考えたときに、一般的になんですが、保護者の方が保育所にお預けになれるのは働きになられているというのがほとんどだと思います。保護者が働きに行かれる就労場所を考えたときに、いろいろなケースが保護者の方によってはあると思いますが、市内で考えたときに、例えば、藍や本庄から広野の方面に向かわれる、あるいは南の方に向かわれる方、志手原もそうですけれども、働かれる場所としては南側に行かれる方が多いのではないかとこのところを、考え方として私たちが持たせていただいているところです。建物の話ではなく、今申しあげたところが私たちの考え方のベースとなっています。</p>
	<p>私には広野である理由が余計になくなります。広野幼稚園の位置</p>	<p>例えば母子の方は母子がいいとおっしゃり、高平の方は高平がいいとおっしゃ</p>

	<p>から考えると、ウッディタウンやフラワータウンに上がればいいと思います。地域の話をする、北側の拠点というのが、どんどん無くなっている。人も増えないですし、増える要素も今はないです。幼稚園施設がないとっと減ります。</p> <p>だから、農村部というのであれば、場所はもう一度詰めてもらった方がいいのかなと思います。納得できる立地とは思えない。交通の便が良いというのは書いてありますが、田舎に行くほど交通の便が良い。安全面を考えたら広野がいいのか、と思います。それは高平地区、小野地区、志手原地区を見ても、志手原なのかなと普通に思ってしまうので、もう少し折衷案は出せないのかなと思います。</p>	<p>っていて、私たちもその気持ちはすごく嬉しいし、愛されているなというふうに感じるところです。広野は、ニュータウンの施設が近くにあるので、そんなにそちらに寄せるのではなく、場所的な全体の適正配置というのであるならば、北部や西部に、もっと寄る方がいいのではないかとこのご意見だと思えます。</p> <p>私たちがこの再編計画案を作った考え方としては、認定こども園は、一定規模があった方が友だちづくりや仲間づくりができて、お互いに学び合えるような環境を作れるのではないかとこの考え方がベースにあります。ですので、子どもさんが公立の認定こども園に集まりやすい環境をできるだけ作りたいというのが私たちの願いだということです。</p> <p>そのときに、その一つとして子育て支援、就労支援にもなる認定こども園化をすることによって、今まで地域外に出ていっていた方々にもご利用いただける可能性が高くなるのではないかとこの思っています。就労支援ということで、事業所に近い、お勤め先が近いということをお考えすると、人が集まっているところに近い場所に認定こども園を作った方がその可能性が上がるのではないかとこの考え方がございます。</p> <p>子どもさんにいかに来ていただける認定こども園にするのかというのが第一にあって、地域の方々が大事にされていますし、優劣をつけるわけでもなく、公教育としての幼稚園教育をできるだけ多くの子どもさんに受けていただきたいという願いもあり、この再編計画案では広野と志手原という形で提案させていただいているところでございます。</p> <p>いただいたご意見は、場所的な位置としては、西部や北部に配置することがこの地図から見ても望ましいのではないかとこの思っています。そのご意見については受け止めさせていただきまして、検討の材料にさせていただきます。私たちが思っているのは、子どもさんに集まっていきたい、ということですので、もう少し具体的にご意見がいただけるのであれば、それも参考に再編計画についても考えていきたいと思っております。</p>
B	<p>今、案として出ていますが、これがもう変わることはないのでしょうか。</p> <p>本庄幼稚園は4歳・5歳児は午前8時から午後2時までですけれど、それを3歳児から5歳児、時間ももう少し伸ばすということが出ていますけれど、これで私立に勝てるのかという懸念が出てくると思います。</p> <p>話を聞く中で、私立に通っているお子さんが来てくれればという</p>	<p>私立との競争をベースにしているわけではありませんが、実際に通う子どもさんがいなくなって、統廃合したはいけれども、というお話かと思えます。</p> <p>公立幼稚園が立地している中で、地域の方との関わりもそうですけれども、自然環境の話もよく聞きます。公立幼稚園がそういう中で幼児教育を行っているところは、公立の強みと思えますし、園児の方が来ていただけるように、そういうところはPRに努めます。</p> <p>今のお話のように、実際にこうやって進めていくけれども、こんな状況になっ</p>

	<p>ことを言われましたが、統廃合することで、今いる人間にとってはデメリットが発生すると思います。広野であれば本庄から遠くなりますし、藍になれば更に離れる。そうなると、この保育条件で遠い距離に行くぐらいなら私立に行った方がいいというように、今私立に行っている方が純増という見方をされていると、減ることが必ずあると思います。私立の方が魅力があるから私立に行っている人が来なければ、またギリ貧になって、また統廃合の話になってしまう可能性が出てくると思います。</p> <p>地域の人など、いろんなところの情報を集めて、ニーズに沿った形にしておかないと、すぐにこの計画の見直しが発生する可能性があるのではないかと思います。各地域の方たちはどういうニーズの保育を望んでおられるのかというデータを取って、それをフィードバックさせないと統廃合したものの離れて行く人がいて、結局適正人数ではないという可能性が出てくると思います。その点で、1号・2号を考えられたと思いますが、そこから多少フレキシブルに計画を見直すということがありますか。</p>	<p>たらどうするかという懸念が発生したときにどのように考えていくかということも含めて、この計画案の中に盛り込んでいくこともできると思います。</p> <p>今回の意見交換会を開かせていただいているのは、そういったお声を聞きながら、私たちの視点だけではなく、皆さんの視点で、盛り込んでおかないといけないところを加えさせていただくことが必要ではないかと思っております。</p> <p>今のようなご指摘は本当に真摯に受けとめながら計画を考えていきたいと思っております。</p>
A	<p>人口推計の表で、このままだったら、こうなりますというのがありました。何か手立てを考えているのですか。</p> <p>前回の説明会で一番強く出ていたのは、本庄に人口を増やそうとしても増えないのはなぜかということをしていました。それに対して何も返事がないです。放っておいたら本庄はもっと減っていきます。幼稚園をつくっても幼稚園に通うような子はいなくなります。地域が一番抱えている問題に何も返事がないままで終わるのは嫌なので言わせていただきました。</p>	<p>言われているのは、市街化調整区域が人口減少の一番大きな要因ではないかということだと思います。市街化調整区域によって、いろんな開発の規制がかかってくることもあるのかもしれませんが、平成10年に市内全域が都市計画区域になり、市街化調整区域になりましたが、その後の平成13年からの人口の状況を見ていただくと、その中でも若い世代が流出しているという状況は確認できると思います。</p> <p>この本庄地域、他の地域もそうですが、市街化調整区域を外して、大規模な宅地開発を行って人口を増やすというのは、あまり現実的ではないと思います。これまでに減ってきた数を同じように戻そうとすると、どれ程の住宅を開発して人口流入させないといけないかということを考えてときには、現実問題として厳しい部分はあると思っています。</p> <p>ただ市街化調整区域の中でも住宅が建てられるように、平成27年からは一部条件を緩和させているところもあります。もちろん農地を宅地にするとなれば農地転用等の手続き等もあり、一定の時間はかかると思いますが、市街化調整区域の中で世帯を分離されて住宅を建てるときは、条件が緩和されているところもありますので、そういうところを活用いただきたいと思います。</p>

		<p>市街化調整区域の規制を排除して大規模な宅地開発というのが現実的ではないなというのはもう一点あります。市内 10 地区では市街化調整区域ばかりではなく、市街化区域もあります。フラワータウンやウッディタウンもあります。</p> <p>大規模宅地開発で同時に大量の世代が入ってくると、同じように大量に抜けていくタイミングというのが出てきます。人口を大幅に増やすというときに大量の宅地開発を行って、人口流入させたとしても、何十年経過する中でこういう状況が生じるということを考えますと、可能な限り今住んでいる方々が定着をして、人口が外に出ていくことを抑制していくことも考えていかなければいけないと思っております。今こうすれば人口が増やせますというお答えをしていませんので、ご質問のお答えにならないかもしれませんが、考え方としては、今申しあげたようなところです。</p>
D	<p>これは根本的に農村問題だと思います。例えば、子どもが正社員で就職してくれたら、定年まで家のことを考えなくてもいい、会社の転勤命令であれば、遠方でも行ったらいい、定年まで考えなくてもいいと答えるしかありません。田舎の現状を見ると。今の農業が儲からないから、どこの集落も限界集落になっていて、誰が農業をやっていくのかという話になっています。だから政府はきちっと指導して、利益の出る農業というものを徹底的に定着していかないと根本的な問題が解決しないと思います。</p>	<p>第4次総合計画にも書かれていますが、農業は三田市の基幹産業という位置づけです。それは、売上高が高いとかというものでなく、そこに住んでいる人たちの暮らしや文化というものを守り、継承していくための、「三田市」であり続けるための重要な産業であるという認識です。</p> <p>三田市でも農業についていろんな振興策をこれからとっていくことにはなりますが、従事者の方の高齢化が進んでいて、それもままならないというようなこともあるかと思えます。私たちは、担当の部署ではございませんが、そういう地域の課題、農業の課題、あるいは若者の流出の問題、そういったことも含めて、トータルで地域の皆さんと市全体で考えていかなければいけないと思っておりますので、ぜひとも私たちにご相談いただいて、農業の活性化であるとか、スマート農業というようなことも可能性としてあるかもしれませんので、そういうことも含めて考えていきたいと思っております。地域の活性化につきましても、この再編計画案の留意事項という中で、地域の皆さんとともに一緒に頑張っていきたいというような内容について、検討してまいりたいと考えているところです。</p>
E	<p>基幹産業の農業ということで、心強いお言葉をいただきましてありがとうございます。大量に住宅を建てて人口を増やすということができないという話もそのとおりだと思います。日本全体としても、これから人口が減っていく中では、住宅をつくっても住んでくれる人が来るかどうか分からない未来が待っています。ただ、三田の農業を基幹産業としてみる場合には、本庄や藍もそうですし、高平もそうだと思いますが、農業をする人が住める地域にしたい。</p>	<p>農業をする方々が住むという視点で、そこに住んでいらっしゃる方々の育児・子育てという視点でのご指摘だと思います。大変貴重なご意見だと思いますので、私たちが十分にくみ取らせていただきたいと思っております。</p> <p>農村部の施設の偏りについて補足させていただきます。本庄に近いものとしては、民間ではありますけれども、長い時間お預かりする施設であれば、あいの保育園があるということ、だからどうという話ではありませんが、情報として補足させていただきます。</p>

	<p>先ほど、幼児施設の偏りのお話をされていて、特に思ったことは、農業をやる人の子どもさんが通うところが都市部に、一番密集地帯に行かなければならない。バスの送迎があるということでしたが、やはりバスの時間に合わせたり、帰ってくる時間と送り出す時間というのは、遠くなるほど住まわれている地域によっては不便になるところが出てくると思います。農村部で保育するというところの利便性というのを考えていただけたらどうかと思います。計画案では、みんなの便利がよく、人口の密集しているところに集める形になっています。そうすると田舎の方の人はみんな不便なところだったら住むのが嫌だと思われるのではないですか。私だったらそう思います。</p> <p>私は子どもも孫もこの年代とは違うので、しばらくの間は全然関係ないという感じもありますが、やはり将来を考えたときに、ここにあったから周りの人が住んで、そこで仕事ができる。もちろん会社に勤めしようと思ったら不便ですが、基幹産業の農業、田んぼや畑を維持するために近くに保育所がある、認定こども園がある。早くから預けることができ、昼間の間、農業をしっかりできるというような場所に残してもらえるといいなど。認定こども園というのは本当にありがたいと思います。</p> <p>昔の子どもはみんな幼稚園などに行かず、近くで遊んで、家族一緒に子どもを大事にしていた。今はどんどん外に仕事に行かないといけないので、子どもを預けるところを何とかしたいということがあります。待機児童はまちの方が多いですが、田舎の方でも早く預けて、長く預かってもらえた方が生活しやすいという案件もあると思いますので、ぜひそのあたりは考えの中に入れていただけたらと思います。</p>	
F	<p>幼稚園を再編することで財政的な効果はあまりないというのは本当ですか。</p>	<p>ざっくりではありますが試算をしております。バスの運行費も含めて計算をさせていただいていますが、長時間にお預かりをする施設になりますし、開設費用、改築費等も発生しますので、そういうところを踏まえて、今後、例えば20年間でどのぐらいの費用がかかるのかということを試算し、それを年割したとき、決して大幅に削減できるものではありません。</p> <p>単純に園を閉めるだけであれば、削減効果が出ますが、新たに認定こども園として保育内容を拡充し、通園バスも運行すると、それほど削減できるわけではな</p>

	<p>く、逆に今の予算の範囲の中に収まるように運営を考えていかなければならないというようになってきます。</p>
<p>それであれば、そのまま小規模の幼稚園も残す方法を考えていくことはできませんか。</p>	<p>子どもさんの学びというときに、私どもが申しあげているのは、何かを学習するというのではなく、子どもさんたちがお互いにその一定の人数でいっしょる中で過ごすことそのものだと思います。もちろん顔が見える関係性というのは十分にわかります。</p> <p>市内の園でいいますと、広野では4歳児が18人、5歳児26人です。三田幼稚園では3歳児が22人、4歳児が32人、5歳児が35人という状況です。三田幼稚園の場合は、32人や35人なのでクラスを分けて、それぞれ担任がついています。その中で顔が見えない形になっているかという、もちろんそんなことはなく、子どもさんに目の行き届いたことを十分させていただけると思います。</p> <p>今は極端な例ですけれども、市内の公立幼稚園に通っていただいている中では、同じように友だち同士がいる中で、いわゆる学習ではなく、友だちと過ごす時間というものを十分に確保するという観点から考えたときには、再編・集約というところも考えていかないといけないと思っています。</p> <p>地域の方に関わっていただく中で、人数が少ない中でも教職員も工夫をしながら、子どもたちにとってどのように関わっていくのがいいのかを試行錯誤しながらやっておりますし、地域の皆さんの関わりの中で貴重な体験をさせていただいているところも十分承知をしているところですが、地域の方との関わり、家庭での教育、幼稚園の役割というのは、やはりそれぞれが担うところがあるのかなと思っています。そういう意味で集団を形成していきたいというところが一つ狙いです。</p>
<p>小規模の保育所、幼稚園には、個々が発言できたり、集団の中に埋もれていけないというメリットがあると思います。なおかつ、家の近くで通わせて、小規模で先生方の目が行き届く。近くに通わせたいし、小規模を望んでいます。現場のことや先生のご事情はよくわかりませんが、これを一旦廃案にして、小学校の中に幼稚園部のようなものをつくって残すということは無理ですか。</p>	<p>小規模であっても、というお話だと思いますが、具体的に人数として、どの程度というようなイメージされている人数、例えば、10人がいいとか、5人がいいとか、何かある程度考えられているところはございますか。</p>
<p>10人程度で十分だと思います。</p>	<p>10人以下ということですか、それとも10人くらいは必要ということですか。</p>
<p>10人くらいは。それは前後しても大丈夫だと思います。</p>	<p>私たちが集団として申しあげている15人から30人というのは別としても、子どもさんにとっては、それでも10人くらいはというところを持っていただいているということだと思います。</p>

		<p>今後の子どもの数や今の在園児を見たときには、実際に2人や3人という園もあります。ある程度の集団の中でという思いを持っていただいているところはおありかと思います。私が申しあげている人数と、ご自身が思っただけの人数の違いはあるにしても、ある程度の集団の中で過ごすことが必要だろうという認識は変わらないのではないかと思います。</p> <p>ただ、近いところがかつ小規模、イメージされているのは10人程度ということですが、そういうご意見があるということ踏まえながら考えていかないといけないというふうに受けとめさせていただきます。</p> <p>同じことを言うようになるかもしれませんが、子どもさんをご家庭でいろんな愛情を受けていらっしゃる、また地域の中で生活して、地域の中で皆さんから愛情を受けていらっしゃる、幼稚園というのは一体、何のためにあるのかということも考えないといけないと思っています。幼稚園の一つの特徴としては、同年齢の子どもが集まってきて、その中で家庭から離れて生活する初めての機会です。将来にわたって友達づき合いや友達づくり、あるいは友だちとのトラブルなども含めて慣れていく、学んでいく。それは言葉で教えるのではなく、経験を通して学んでいくという要素があるのではないかと思います。そういった観点から、先生と園児の関係性とともに、より多くの園児同士の学び合いや育ち合いといった要素も幼稚園の教育の中では、特に重要になってくると思っています。</p> <p>学校教育法や幼稚園教育要領に集団教育が書かれていることが理由というわけではありませんが、そういった集団の中で学ぶということが重要と考えています。その中で、10人がいいのか、15人がいいのかというようなお話になるかと思います。資料2ページに市立幼稚園の在籍人数とスタッフの数を書いておまして、この地域以外の他の幼稚園のことになりますが、小野幼稚園は3人の園児さんに対してスタッフが4人います。母子幼稚園は2人の園児さんに対して3人の先生がいます。人数が少ないと、園児同士の会話はどうしても少なくなる傾向にあるというふうに思います。</p> <p>園児同士が、ときには衝突することもあるし、そんなことは後で学んだらいいというようなお話もあるかと思いますが、小学校に入ったときになかなか友だちを作れずに悩むというようなこともあるかもしれません。いずれにせよ、わたしたちは、園児の皆さんが大人になったときにどんな基礎があれば、大人になってからも自分らしく生きていけるのかということを考えて、幼稚園の間には、そういった集団の中で慣れていくという経験も必要ではないかと思っています。</p> <p>資料集の16ページの他市の状況を見ていただきますと、「望ましい規模」とし</p>
--	--	--

		<p>て20人の設定をしている市もあります。その中では、三田市は幼児教育に力を入れて、他市との比較からすると、下限の目安として15人とさせていただいており、他市のような20人や30人にはしていないところでございます。そういう意味では、少人数の部分についても一定考慮しながら基準を設定させていただいているところでございます。10人というご意見があったことについては、そのご意見も含めて15人の妥当性について検証してまいりたいと思っております。</p>
--	--	--

三田市立幼稚園再編計画（案）意見交換会概要

【広野市民センター：出席者数：18人】

日時：6月20日（日）10：00～11：35

	出席者の発言等（概要）	市の回答等（概要）
A	<p>プラスの面はかなりわかりましたが、認定こども園化することに対するデメリットは全く出ていません。こんなことが問題になるのではないかということは何かありますか。</p> <p>例えば、幼稚園の教育に保育が加味されます。そうしますと、今の現場のスタッフ、先生方にかなりのご負担がかかってくるのではないかというようなことが危惧されます。</p> <p>藍や本庄は通園バスを使って通園されますが、その時間はどれくらい見られているのか、費用負担が発生するかなど、いろいろデメリットも考えられると思いますので、そのあたりをどのようにお考えなのかをお伺いします。</p> <p>2号であれば費用負担は発生しますか。</p> <p>広野幼稚園は4歳児、5歳児ですが、今度は3歳児からの受け入れとなります。認定こども園へ子どもを通わせようとするれば、3歳でも4歳でもいいという形になるのですか。</p>	<p>教育に保育の部分が加わりますので、当然、今の職員数で子どもを見るということは難しいと思います。子どもたちを安全に安心して預けていただけるように職員数を増やし、十分な体制を整えていきたいと考えています。</p> <p>認定こども園も保育所も幼稚園も幼児教育については、幼稚園教育要領、保育所保育指針、認定こども園教育・保育要領も3歳児以上の内容は同一のものとなっています。認定こども園とすることで、子どもたちに教育を受けてもらいながら子育て世帯の就労支援というところで安心して子どもさんを預けていただけるように保育の体制を整えていきたいと考えています。</p> <p>通園バスに関して、子どもの通園にかかる時間、安全については非常に大事なことでと考えています。昨年度、現在幼稚園に通われているお子さんのお住いでどれくらいかかるかを計測しています。ゆっくり走って、最長40分ぐらい、実際はもう少し早く走れると思います。認定こども園化されたときには、実際に通われるお子さんの乗り降りする場所が変わってきますので、地域や保護者の皆さんと一緒に検討させていただきたいと思います。また、1号で通われているお子様については無料で考えています。</p> <p>閉園となって幼稚園に通われているお子さんの通園距離が遠くなることに対する支援としてバスの運行を考えていますので、送迎は1号のお子さんを対象として考えています。2号のお子さんの送迎は、現状では考えていません。</p> <p>3歳からでも入れますし、4歳からでも入れます。</p>
B	<p>住民説明会を何回か開催していただいている、いつぐらいに再編するのか、しないのかということが決まりますか。</p>	<p>今、地域の皆さんと意見交換会をさせていただいています。全地域を回らせていただいて、それについて持ち帰って検討するということになろうかと思っています。</p> <p>時期が現時点で決まっているわけではありませんが、手続き的に言いますと、計画案に内容を追加しないと皆さんに安心いただけないこともあるのではないかと思いますので、そのあたりの修正等について検討します。そして総合教育会議などの意思決定の手続きを経て修正案を作り、その後パブリックコメントで市民の皆さんにご意見を頂戴し、それを踏まえて最終的に決定という形になってく</p>

		<p>るかと思っています。</p> <p>いつまでにしないといけないということではございませんが、内容が内容ですので、いろんなご意見をいただいているので、どうすれば再編計画自体をより良いものにできるかということを考えながら進めていきたいと思っています。</p>
	<p>私自身は再編に賛成ですけど、先ほどの説明の中では、受け入れできない子どもがいるのではないかという意見や、支援が必要な子どもに対しての不安があるというような意見がありました。それ以外にどのような反対意見が出ていますか。その反対意見に対して、どういう対応を取ろうとされていますか。</p>	<p>2号認定こどもの受け入れのお話ですが、待機児童数の合計数が39名になっています。昨年の意見交換会でお話させていただいたときは57名でした。</p> <p>この再編計画案では、新たに認定こども園2園を設置することとしています。そこで保育の必要なお子さんを受け入れますが、幼稚園と違い、保育の部分というのは、保育の必要性があるからお預けになりたいというところですので、利用にあたって市内全域での調整がかかります。保育の必要性に応じて、指数をもとに判定をしていくこととなります。</p> <p>例えば、広野や志手原に近い方でなくても、どうしても預けたいということであればそこにお預けになり、それぞれの園区にいらっしゃる子どもさんの中で、保育の必要性のある子どもさんが入れなくなるのではないかと懸念についてのご意見でした。</p> <p>今年の状況では、広野地区の待機児童は1名です。令和4年4月にゆりのき台に新たに保育所が120名規模で開園をすることになっておりますので、この中で保育の必要なおさんは、ある程度解消ができるのではないかと考えております。</p> <p>今の状況を見ますと、新たにつくる認定こども園でその園区の保育が必要なおさんの受け入れというのは十分可能ではないかと考えております。</p> <p>支援の必要なおさんについて、人数が少ない方が、先生の目が一人一人の子どもさんに行き届くのではないかとありますが、市立幼稚園には園児数が10人未満の園もたくさんあり、3人や6人の園もございます。先生の関わり方が濃くなるというのはそのとおりですが、支援が必要なおさんに対する対応というのは、人数が少ない園でも大きな園でも、これまでから直接的に先生が関わる中で対応してきているところです。</p> <p>再編計画案に反対されているそれ以外の意見ですが、資料集1ページの特別な支援が必要な方のことや通園バスに関する事などは、再編計画が実行された後の心配事項だと思います。再編計画そのものに対するご意見としましては、適正規模に関する事で、同じ学年で1クラス15人から30人が望ましいとさせていただいておりますが、もっと小さくてもいいというようなご意見を頂戴していません。</p> <p>これに対しましては、子どもたちが家庭から出て初めて社会に出るといった、</p>

		<p>家庭や地域だけでは学べない同年齢の子どもたちが集まる幼稚園という場所で、仲間づくりや友だちとの付き合い方みたいなどを学んでいくことも重要ではないかと思っています。先生と子どもさんの関係だけではなく、子どもさん同士の関係性についても身につけていくことが重要と思っていますので、そのあたりについては、これからも丁寧に説明していきたいと思っています。</p> <p>もう一つ大きなものとしては、再編後の認定こども園の設置場所に関することです。それぞれの地域に行きますと、認定こども園はここにある幼稚園においてほしい、集約するのはいいとしても、ここがいいとおっしゃる方が多く、その方々にも申しあげていますが、それぞれの園が素晴らしく、皆さんに愛されていることは私たちも承知しています。</p> <p>集団規模 15 から 30 人の子どもさんが集まるような園にしたいというのが私たちの願いです。そのための認定こども園化ですが、就労支援の話でいいますと、事業所や皆さんが働く場所とご自宅の間で行きやすいところはどこだろうと地域の中で探すと、どうしても志手原や広野にならざるを得ないということで再編計画案ではそのようにしています。そのあたりについても丁寧に説明させていただきます。</p>
C	<p>いつまでに決めるということではないという話が説明の中でありましたが、昨年9月の市議会で市長は今年の3月までに決めるというふうに言われて提案されました。昨年の地域説明会で、なぜそんなに急ぐのですかという質問に対して、それをやらないと間に合わないのですという説明がありました。</p> <p>その間に合わないという説明の日程、広野地域は三輪地域より1年早く実施していくという案が出されているということは、いつまでに決めることではないという答えというのは違うと思います。なぜそんなに変わってきたのかをご説明ください。</p> <p>最後のところの意味がよく分かりません。時期的なことについては、唐突なこともあったし、庁内でも市民の皆さんが反対や理解が</p>	<p>当初、幼稚園の状況を踏まえて、早く保育サービスを提供できる認定こども園をつくりたいということで地域の方に説明し、議会でもそのようにお答えしました。ただし、地域の方々のご意見を頂戴しますと、再編後の心配もさることながら、再編計画そのものに対するご心配、ご意見、それから突然の提案ではないかという、地域にとっては、準備が十分でないままにこの話を持ってこられてもすぐに決断が出せないというご意見もいただいています。庁内でも、いくら大切なことであっても、市民の方々の反対が多いままで、ご理解いただけないままに強引に進めていくのはどうかということがありました。再編計画案の中でもスケジュールを書いています、再編計画案を変えるには一定の手続きが必要となりますので、このままのスピードでいけるのかということと難しいところはございますし、地域の方々の意見を頂戴しながら、計画に追記するようなことも考えながらやっていきたいと考えております。</p> <p>この再編計画案でやろうとしていることは、早くやった方がいいという認識は変わりませんが、地域の皆さん、保護者の皆さんのご意見を伺いながら丁寧に説明したうえで進めていきたいと考えています。</p> <p>この再編計画案が目指すところ、その考え方については変わりありません。時期的なことや、今からできることが一体何かということは更新が必要ですし、皆</p>

<p>不十分であるから、もう少し考えていきたいということをおっしゃっていました。ところが、計画の中身については今のところ変えるつもりはないということは、市民の皆さんがいろんな意見を出されてもそれはお聞きしません。時期的なことやバスのことなど、一定のことについては考慮していくけれども、認定こども園にすることなどの基本的なこと、つまり計画の中身については変えることはしませんということをおっしゃったということで間違いないですね。</p>	<p>さんをご心配になっているような項目について、この再編計画案の中に書かれていないのであれば、記載をしなければなりません。</p> <p>ただ、大切なこと、集団規模といいますか、子どもさんが学び合う機会をつくるということと、農村地域にお住いの皆さんに午前7時から夜7時までお預かりをさせていただけるような施設をつくることで、地域の若い世代がこの地域で残っていただけるきっかけになるようにしたいという思い自体は変わっておりません。</p>
<p>了解したわけじゃないですけど、そういう説明だということは理解しました。</p> <p>これまで説明の中で、人口減少、子どもたちの人数がこのように減りますということが示されました。ところが、再編をするとどうなるかというのが出されていません。そのままの数字を当てはめているだけで、再編をすることによって、農村地域の不便さやそこで子どもたちの人数が、実際はこの数字より更に減ってしまうということが懸念されます。なぜかという平成の大合併で合併された周辺のところは、人口や子どもたちの人数が大幅に減ってしまっています。</p> <p>その地域で子育てができないような環境、つまり幼稚園や、先ほど小学校についてはまだ考えていないと言われましたが、すでに小学校についても適正規模という形が表示されています。どこの地域に小学校を合併するということは書いてないですが、幼稚園と同じように統廃合を進めますということが示されていますので、先ほどの答弁は間違っていると思います。</p> <p>いずれにしても統廃合して1か所にまとめていくことによって、逆に農村地域で子育てができない環境になってしまうと、その地域での人口減少、子どもの人口減少が更に進むということは統計的にわかっていることなのに、それをなぜ示そうとしないのですか。</p>	<p>認定こども園を2つ新たに設置したとしても、今の市立幼稚園がなくなることによって人口が減っていくのではないかとご意見かと思えます。</p> <p>市立幼稚園はこれまで10園を維持してきましたが、その中でも市立幼稚園に通うお子さんの数は減ってきています。そうしたことは、それぞれの地域の中で市立幼稚園だけでは受け入れることのできないニーズの方々が一定いらっしゃるということです。そのことを考えると、その地域にお住まいの方のニーズに応えられるような施設をつくっていく必要があると思います。</p> <p>市立幼稚園の園児数は252人ですが、例えば、ウッディタウンにある民間の認定こども園では、1施設で250人を超える子どもを受け入れているという状況もあります。もちろん、市立幼稚園を1か所にまとめるようなことも考えていません。それぞれ、広野や志手原というところに認定こども園、一定のニーズに対応できる形で施設を残していかないといけないというのが私たちの考えです。</p> <p>人口が減るといえるのはいろいろな要因がございますので、それをひとつで片づけるわけにはいきませんし、認定こども園ができたからといって、それだけで人口が増えるのかというと、それはわからないと思います。人口減少の要因について見ていただきましたが、少子化や若年層の流出、それらが要因となっています。</p> <p>少子化というのはそれぞれ個人のご判断という面があります。若年層、就職をしてから子育て世代になる頃に流出しています。それは就職して大阪や東京に行きたい、そこで仕事をしたいという方もたくさんいらっしゃいます。三田市は利便性が高いところで、どこに住んでいてもそれなりの時間で駅までアクセスできて、大阪に通うことができるにも関わらず、若年層は、流出しています。その要因の一つとして、子どもを育てる際に近くに預けられる施設がないというのも一つの不安要因ではないかと思っています。</p> <p>農村地域には、今、幼稚園が7園あって、園児数が減っているという状況です。その地域にお住まいの方が、既成市街地やニュータウンまで子どもさんを預けに行かれているような状況があるので、できたらもう少し近いところでそういっ</p>

		<p>たサービスが提供できる施設があった方がいいという判断です。</p> <p>ただ民間の認定こども園や保育所の規模や園児数などを見ていただきますと、なかなか太刀打ちができない1園あたりの人数となっています。こういった認定こども園を農村地域で設置し運営するのならば、公立の幼稚園でしかできないだろうと思います。公立の幼稚園であるからこそ、ある意味でセーフティネットといえますか、既成市街地やニュータウンの中で、集団教育でいろんな力をつけていただいている環境を農村地域にもつくっていきたいと考えています。そういった施設がない方がいいということであれば、それはご意見としてはあるかもしれませんが、私たちはそういった施設が必要だと考えています。</p> <p>このままいけば人口は減少していくということに対して、何かできることはないのかと考えて、ご提案させていただいているのもこの再編計画でございます。</p> <p>このまま何もせずに、10人以下の園がたくさん生まれてきて、それで良かったと言えるようになるかという、幼稚園を運営する側としては、なかなかそうは言えません。農村地域にも若者世代が残っていただけるような施設が、それぞれ東と西の一つでもあれば、それがひとつのきっかけになるかもしれない、なってほしい、皆さんにもこの施設ができたからここで子育てしようというような声をかけていただけるような施設になればいいと考えています。</p> <p>今、市立幼稚園は15人未満の幼稚園が7園、そのうちの3園が10人未満となっています。幼稚園は遊びを中心とした体験を通して、子どもたちが学び合うところです。友だちと一緒に心を通わせて遊ぶ、その中で心が通じ合う、楽しさを感じたり、ときには喧嘩をしたりしながら、人と協調する、折り合いをつけるといった人と関わる力を身につけていく大切な場所です。その大切な遊びを子どもたちがしたいと思ってもできないぐらいに友だちがいなかったり、遊び込むことが難しい状況になっています。そういった現状の中で、園を集約する中で子どもたちが触れ合いながら、育ち合っしてほしいという願いを持って作ったのがこの再編計画案です。</p>
D	<p>令和5年度に3歳児2号認定で申請しようと思っている者ですが、定員が25名、2号認定は5人以内、ただし、1号認定の受け入れ状況によると書いてありますが、逆に1号認定が多ければ、2号認定の定員は減りますか。</p> <p>令和4年度から改築工事が始まると書いてありますが、実際に入れようと思うと見学に行くと、具体的にスタッフさんが何人かとか、施設の状況とかを見に行かないと、申請するか、他のところに申請</p>	<p>定員については、3歳は定員25名、今のところ2号認定については各学年5名以内としています。というのも、幼稚園がなくなるということで、集約される3園の1号のお子さんを優先的に受け入れさせていただきます。9月頃の1号認定のお子さんの受入状況を見て、2号認定のお子さんの受入人数が決まることになります。</p> <p>給食については、現在、市立幼稚園は小学校と同じように学校給食で、給食センターから配送されています。認定こども園についても、引き続き学校給食で対</p>

	<p>するかを考えないといけないので、具体的な数字があれば教えてください。</p> <p>2号認定になると預かり保育が何時から何時までとか、土曜日もやっているのか、長期休暇があるのかどうか、給食はどのようなのかとか、書いてあるかもしれませんが、具体的に教えていただきたいと思います。</p>	<p>応したいと考えています。長期休業日や土曜日は学校給食での対応は難しいですので、民間の事業者も含めながら、今後検討していくこととなります。</p> <p>預かり保育は1号認定ということになりますので、土曜日はない形になります。ただし、幼稚園の長期休業期間は預かり保育を実施することになります。</p> <p>今のこの再編計画案には、認定こども園の実施時期を記載していますが、意見交換会を昨年から引き続き開催させていただき、今も計画として確定したものになっていない状況から考えますと、実施時期というのは少しずれる可能性があります。</p> <p>私たちも可能な限り、多くの方の理解を得ながら進めていきたいと取り組んでいるところですので、非常に大きな期待をいただいているところ、大変申し訳ございませんが、実施の時期はずれる可能性があります。</p> <p>1号、2号の受け入れについてですが、資料集12ページに各園区内の年齢ごとの子どもさんの数を記載しています。今施設に通われているお子さんはおそらくそのまま今入園されている施設をご利用されると思いますので、そこから差し引きした人数が新たに広野にできる認定こども園に行かれたりする人数が推定できると思います。1号でどれぐらいの子どもさんが入るであろうとか、2号で預けたいと思われる方がどのぐらいかというところは、おおよそのところは推計できると思いますので、今の定員25人ですと、おおよそ対応できるかなというふうに思っております。</p>
	<p>1号から途中で2号に変えることもできると聞いたような気がしますが、1号で申請して途中で2号に変えることもできるのですか。</p>	<p>全体の定員25人の中で、1号認定で入られている方が2号認定に変わるということはありません。2号認定の場合は、申請の中で保護者の方の就労状況などの保育の必要性について判断させていただきます。保育の必要性があるということになれば、2号認定ということで、通常の保育標準時間を受けていただいたり、延長保育を受けていただくことは可能になります。</p>
E	<p>人口推移を計算していただいて、おおよそこれで受け入れできるだろうという見込みでの統合という形だと思います。広野、本庄、藍の人数の見込みで定員が70名になっていると思いますが、現在、ニュータウンの方からもたくさん入られています。その方たちの対応としてゆりのき台に定員120名の保育園をつくるとお聞きしましたが、園費などの関係でこちらに行きたいという方はいらっしゃらないでしょうか。その場合は、優先的にこちらの方にお越しいただけるのかもお聞かせください。</p>	<p>待機児童は、ゆりのき台に新設保育園ができるということからある程度吸収できるというところはおっしゃるとおりです。</p> <p>令和元年10月から3歳から5歳の子どもさんについては、幼児教育・保育無償化となっています。私立園でも公立園でも、基本的には費用が発生しないということになっていますので、費用面が選択の条件ということにはならないと思います。</p> <p>現在も基本的には園区は存在しています。園区外からの通園を認めていますのでニュータウンからも来られていますが、藍、本庄、広野の園区内にいらっしゃる方を優先的にするというところは前提としてあります。基本は園区内の方が優</p>

		先という考え方は変わっておりません。
F	<p>この計画案では母子の方は母子からずっと広野へ通園するのですね。</p> <p>広野は、本庄と藍の2園からですね。結構距離があります。保護者の就労支援だと言われてはいますが、本当に就労支援になるのかと思います。</p> <p>集団は15名から30名の規模が理想と言われてはいますが、それよりも小さくしたら遊ぶことができない、遊び込むことができないほど人数が減っているという話にちょっとショックを受けています。</p> <p>子どもは1人でも2人でも遊べます。集団でも遊べます。やはり子どもが主体ではないでしょうか。人数ではないと思います。遊ぼうと思ったら、1人遊びも遊びです。少なくとも遊べる。</p> <p>子どもは本当に知能発達すごいです。学ぼうと思って学んでいるわけではなく、日々の生活が学びです。学び合うためには集団がいるとか、15人はいるとか、決めつけがすごいです。市の人の発言は威圧的に受け取れました。</p> <p>ウディタウンの方は人数が多いですが、農村で保育するというのはのんびりしていいと思います。それを生かして、少なくとも保育ができるという確証を持って、市の方も人数が減るから統合するという頭を切り離して、子どもの発達、農村地域の発展、保護者の就労も含めて農村を活性化するというのをどうしてこのビジョンに入れていないのですか。</p> <p>人口というのは、増えたり、減ったりするのが人口と違いますか。今は減っていますが、もっと活性化する方法を市が考えないと。私たち一人ひとりではできません。協力はします、支援もしますが、方針を立てるのは三田市ではありませんか。私から言わせてもらおうと怠けています。就労もありますけど、若い人は魅力がないから東京とかに行くのと違いますか。</p> <p>三田では農村地帯、魅力がある土地があるところをもっと見直すべきではないですか。そういうことが一つも見えてきませんが、どのように考えていますか。ビジョンは全然なく、数字ばかりでは、若い人も住めないといえますか、ついてこないと思います。</p>	<p>いいえ。母子からは広野には通園にはならないです。母子の方は志手原になります。</p> <p>子どもはすごく伸びる力を持っています。1人でも遊ぶし、2人でも何人でも遊びます。そして子どもたちは、一人で遊ぶ中で学ぶことと、友だちとかかわって遊ぶ中で学ぶことがあると思います。幼稚園に来させる意味は何でしょうか。また皆さんと一緒に話ができたらと思いますが、やはり家で経験できないことができるから幼稚園があるのではないかと考えております。</p> <p>幼稚園は公教育です。学校教育法や幼稚園教育要領に則った集団を通じた教育をしていくということが幼稚園の意義だと思いますので、今のご意見も参考にはさせていただきますが、集団の意義というのは子どもにとってとても大切なものだと考えております。</p> <p>就労支援というお話がありましたが、今の市立幼稚園の14時までのお預かりでは長時間働いていらっしゃる保護者の方が市立幼稚園にお預けになるというのはなかなか難しいというところで、認定こども園化することによって、長い時間お預けいただけるようにするというところの計画ですので、そこが就労支援です。</p> <p>学びのお話をされていましたが、まさに日々の生活そのものが子どもの学びではないかなというのは言われるとおりに思います。日々の生活の中で子どもが学んでいくのであれば、子どもさんを幼稚園に通わせていただいて、日々その幼稚園の中で学んでいただくことは何か。そこにいる友だち同士との関わりの中で生活することそのものが学びだと思います。</p> <p>幼稚園に通っていただいて1人遊びをしていただくというのでは、幼稚園に通っていただく意味は、なかなか見出しにくいと思います。</p> <p>幼稚園が小規模で駄目だというようなお話を申しあげているわけではありません。1人遊びというのは子どもさんにとって大事な遊びだと思います。</p> <p>けれども幼稚園に通っていただいて、日々の生活を毎日幼稚園で過ごしていただく中で、どういった生活をしていただくかとなると、やはり友だちがいるということに意味があるのではないかと考えております。</p>

三田市立幼稚園再編計画（案）意見交換会概要

【有馬富士共生センター：出席者数：14人】

日時：6月26日（土）10：00～11：20

	出席者の発言等（概要）	市の回答等（概要）
A	<p>幼稚園再編が小学校再編のきっかけになることはないということですが、中学校では上野台中学校と八景中学校の統合が検討されていますので、幼稚園が認定こども園に再編できれば、小学校再編に繋がるということは誰が考えてもそう思います。オール三輪地区を見た場合、幼稚園が志手原に集約されるのであれば、当然のことながら小学校もそのような形で志手原に集約されるというのは、誰が考えても考え付くわけです。</p> <p>そうすると幼稚園だけの統廃合ではなく、小学校も今の時点からリンクというか計画、これが然るべきだと思いますが、そのあたりはどこまで進んでいますか。</p> <p>もう一つ、志手原地区はこちらの方に集約されるからそれ程、反対意見は出ないかと思いますが、高平地区などの他の地区は、志手原に集約されるのであれば、了解をいただけるというか、どのくらい賛否の意見があるのかを参考に教えてください。</p>	<p>幼稚園を再編するにあたって、他の地区の意見はどうかということですが、高平の方で反対のご意見があったということは事実ですし、そういうお声は聞いております。具体的に賛成や反対がどれくらいというところをお答えするのは難しいのですが、今回の意見交換会では、アンケート用紙をお渡しして、参加いただいた方がどのようなお考えをお持ちかということはお聞かせいただいて、その数字は公開をさせていただきたいと思っております。</p> <p>その数字を見る中で、ある程度判断をしていかないといけないと思っておりますが、どれくらいの反対、賛成であれば、どのような結論にするということは、ここでお答えするのは難しいところです。少なくとも、参加されている方だけになりますが、どのようなご意見をお持ちなのかというところを確認させていただこうと思っております。</p> <p>小学校の再編とリンクした計画が既にあるのではないかとご質問ですが、小規模化が進んでいるという課題・懸念というのは私どもも持ち合わせております。幼稚園の子ども、就学前の該当年齢の子ども数が減ってきているということは、数字として表れていますので、それが小学校にあがる年齢になれば、その子ども達しか小学校に入らないというところで小規模化が進むということは想像しているところです。</p> <p>ただし、皆様方にお示しをする、小学校についての計画というものは、まだ持ち合わせてはおりません。この計画というのは、今後どうするかということで、議会でもご質問をいただいておりますので、小規模化の課題に対する対策をどうするかということを考える時期に来ていると思います。幼稚園と違うと言えば、小学校は義務教育ということもあり、今までから地域に根差した学校運営をやってきておりますので、皆様方のご理解も十分に得る必要があると考えているところです。</p> <p>そういったことを踏まえまして、まずは小学校の小規模化に課題があるということ地域の方々と情報提供をしながらご相談をさせていただく中で、今後どうしていくかということ十分に検討させていただきたいと考えています。</p> <p>小学校と幼稚園がリンクして動いているかということ、まだそこまでの計画のまとめというのは持ち合わせていないという状況です。</p>

B	<p>この再編計画というのは、志手原にとって、子どもたち・園児にとっては大変良いと思います。ただ、志手原は上野台中学校区の中で一番端になります。なぜ中心の方に寄っていかないのですか。利便性のこともあるかと思いますが、そのあたりはどのようにお考えですか。</p> <p>上野台中学校も一番端にあります。校区の中心の方にみんなが寄ってくるような施設、教育施設は考えられないのですか。確かに、交通の便など、いろいろと考えられることもあろうかと思いますが、そのあたりについてお考えをお聞かせください。</p> <p>資料に「共に育ちあう環境」という形も書いてあります。先程も言われましたように、小学校もいずれ何か動きがあると思います。</p> <p>そういった中で、幼稚園がなくなり、小学校がなくなり、中学校がなくなり、地域の活性化というのがどこかでなくなってしまう。そういったところで、分散して、幼稚園はこのエリアに残していこう、小学校はこのエリアに残していこうという総合的な考えというのを教えていただきたい。</p>	<p>幼稚園再編した後の認定こども園をなぜ志手原なのかというご質問についてですが、エリア全体を見たときの地図上での位置というお話もあろうかとは思いますが。</p> <p>地域の中には幼稚園に通わせられる方だけではなく、保育の必要性があって長時間お預けになられるという方々も一定数いらっしゃることを示しました。先ほど地理的な中心にというお話もありましたが、皆さんの就業先としては、そちらの方に向かわれる可能性の方が高いのではないかと考えています。保護者の方がお預けになるときに、就業先に向かうところでお預けになれる方がより良いのではないかと考えているところです。今回の認定こども園は保育も行う施設としていきますので、就業をされる可能性の高い方向ということで志手原を考えたというふうにご理解いただきたいと思います。</p> <p>ご意見の中では、幼稚園がなくなって、小学校がなくなって、中学校もなくなってというようなことがあれば、地域の活性化がどうなっていくのだろうという懸念があるというお話は、私たちも十分に理解していますし、地域にあるものがなくなるというところでお感じになる気持ちにつきましても共感させていただくところです。</p> <p>教育委員会から申しあげましたが、今の段階で小学校をどうするのかというところに、まだ言及できる状態ではありませんので、まずもって幼稚園については、私どもが考えている場所でのお話をさせていただいています。小学校については、まだ地域の皆さまとお話をする場面に入っているわけではありませんので、その中で、今おっしゃられたようなことについてもご意見としてお話をいただけることになると思います。</p>
C	<p>認定こども園が人口減少の抑制になると考えているという説明がありました。小学校については、どの地域、例えば志手原小学校に集約するという具体的な計画はないという意味だと思いますが、既に小学校は一学年2クラス、3クラスという基準を三田市はこの案の中に示しています。ということは、幼稚園再編の先に小学校の再編計画も出てくるということが目に見えているわけです。</p> <p>そうした中で、認定こども園によって人口減少が抑制できるような説明がありましたが、具体的にどのように抑制をして、人口がどうなっていくのかを示すべきだと思います。このままでは人口減少になって、大変な事態になるという脅しの話ばかりです。これに対して、具体的にこういう手立てをとったらこのようになるという展</p>	<p>人口減少の要因というのは様々で、少子化や若年層の流出も大きな要因の一つではないかというのはお示しているところです。</p> <p>若年層の流出の要因の中には、子育て世代が極端に減りつつあるという現状を見ますと、この農村地域に7時から19時までというような共働きをしながら子育てをできる施設がないというのも要因の一つではないかと考えているところです。</p> <p>もちろん人口減少の要因は一つではありませんが、そういった要因の一つと思われる若年層の流出をいかに抑制するかというのが一つ大きなポイントかと思っています。その観点から認定こども園化することによって、今は既成市街地やニュータウンへ子どもさんを預けに行かれている農村地域の子育て世代の皆さんが、この農村地域内で認定こども園にお預けいただけることにより、もちろん子</p>

	<p>望が一切出されていません。人数が一定規模になりますというだけであって、展望ではなく、数合わせだけです。この数合わせをしたら、どのような地域になっていくのかをまず示すことが最初ではないですか。いくら計画案の段階でも、それを示さないでこういう議論をしていくというのは、ちょっと脅しのような状況になります。</p>	<p>どもさんが集まっていただけのことでもありますし、地域に留まっていただけ、きっかけになるのではないかと考えております。</p> <p>このことをすることで人口が100人や200人増えるというようなことではありません。人口というのは、いろんな要素が絡まって増えたり、減ったりしていくものでございますので、皆さんには、こういった施設がもしできた暁には、こういった施設もできて、共働きしながらでもここに住めるようになる、これも考えてみたらというようなお声がけを若い世代の方にさせていただきたいと思っております。</p> <p>脅しと言われましたが、私たちが危機感を持っていますのは、子どもさんの学ぶ機会についてです。友だちをたくさん作りながら、友だち同士の関わりの中で学び合うということが、徐々に難しくなっている現状を危惧しているところです。</p> <p>その対策の一つとして集約をする。ただそれだけでは十分ではないということもありますので、子育て支援にも役に立つ認定こども園化を図るということを含めて、最終的には子どもさんの豊かな学び、学び合いが出来るような施設にしたいというのがこの再編計画案の趣旨です。</p>
D	<p>事前に協力いただいて、資料をいただきまして、PTA会員にこの資料を配布して意見を募集しましたが、意見はありませんでした。関心が薄いのか、お忙しいのか、わかりかねますが、一つ思ったことは、この資料だけでは伝えられない内容があると見ていて思いました。説明を受けて、人口減少や人口ピラミッドなど、そういう中でいろんな根拠を持ってなされているとは思いましたが、資料にしっかりとそれを明記してもらいたい。説明会に参加されない方がわからないという状態では絶対ダメだと思います。説明会に参加しなくても意見を出せるような状態にさせていただくことが大事ではないかと思いました。</p> <p>保護者の意見が取れていないので、個人的な意見になりますが、小学校の適正規模を示されていて、小学校の方が先ではないかと思っています。幼稚園は長くて3年、小学校は6年あります。小学校の小規模の問題の方が大きいのではないかと考えています。中学校再編も準備して、幼稚園もやります。小学校だけ中抜きで、今検討中というような状態では、何か繋がりに欠けているというような気持ちがあります。</p> <p>保育ニーズの多様化で長時間保育のニーズの高まりというのがある</p>	<p>資料のあり方につきましては意見交換会を開催するときの参考とさせていただきます。</p> <p>資料集7ページの表4に保育率の推移があります。令和3年度の3歳児から5歳児の保育率は45.2%で、この数字は平成29年から掲載していますが、年々、お預けになりたいという方の率が増えてきています。</p> <p>これを見ますと、保育ニーズが高まっているということをご確認いただけるかと思っております。資料集12ページでは、園区内のお子さんのうち、就学前施設に在籍されているお子さんの数をお示ししています。この数字を読み取る中では、ニーズはあると私たちは受け取っています。これを見て、ニーズがないとはなりにくいと思っております。</p> <p>受け入れが足りるのかということですが、認定こども園化した後の定員は3歳のお子どもさんが25人、4歳のお子さんが30人、5歳のお子さんが30人。当初5歳のお子さんは皆さんを受け入れるために35人としており、全体として90人と考えていますので、集約する園のお子さんの数は十分に受け入れられるところで計画はさせていただいています。</p> <p>道路や駐車場のことを懸念されているのは、当然のことだと思いますし、対応はしていかないとはいけません。この再編計画案が計画として確定した上で、例えば駐車場や通園バスの進入路など、具体的なことについてのお話を一</p>

	<p>りましたが、そういう意見があるということですか。それとも2号認定のお子さんが多くいらっしゃるという意味ですか。それと全員入れる新しい認定こども園は想定されている規模で足りるのか。</p> <p>賛成、反対という話があるので、賛成だったとき、先の話をするのもちょっと話が違うと思っています。</p> <p>私はこの説明を受けてから再三言わせてもらっているのは、バスを出して職員も増えるのであれば、「バスの転回場所はどようになりますか」、「駐車場まで入ってくるルートはすれ違いが難しいです」、「駐車場も狭いので、今でもいっぱいの状態をどうするのですか」。今回も盛り込まないといけないで終わっていますが、もう少し早く具体的に出してもらわないと賛成という手も挙げにくいということを言わせていただきます。</p>	<p>緒に進めていかないといけないと思います。計画に盛り込むかどうかというような段階ではないのではないかとのお話しかと思いますが、通園バスのことも、実際に通われる方などに直接的にお話をさせていただくことが必要になってくると思います。</p> <p>志手原のことでいいますと、駐車場の進入路は確かに道が狭いので、すれ違いのための退避を考えないといけないとかいうことは私たちも思っております。ただ、具体的な協議というのは、計画案が計画となった段階でさせていただかないといけないことだと思っています。</p> <p>そういう意味でいうと、計画案を計画とする段階では、具体的にそのことを協議する内容であるということと計画の中に盛り込むことによって、市もそれを協議する項目として認識しているし、担保していくという形にするのが良いのではないかとこのところでは思っています。</p> <p>懸念されている内容は十分に理解できますし、協議していかないといけないとは思っていますが、駐車場の台数をこれだけにしますとか、道路をこのぐらい拡張しますというような具体の手順を今、この計画に書くというのは難しいというところをご理解いただきたいと思います。</p>
D	<p>具体的に書いて欲しいということではなく、そういう問題があるのでそこも検討しますということを計画に書いて欲しいです。</p>	<p>今ご意見いただいたものを検討することはもちろん必要だと思っております。</p>
E	<p>中学校の再編計画、幼稚園とわかりますが、仮にそれが統廃合されたとして、子ども・未来部や教育委員会の仕事ではないとわかりますが、これから先に若い子育て世代の皆さんに来ていただける、住み続けていただけるようなことは、どなたが、どこの部署で考えていただけることですか。</p> <p>今回はこういう単位になりますが、今後の人口減少によって、また何年か先、次はどういう単位になっていくのか。さらに次の世代のこともあります。そういうこともまた考えられているのかと心配になっています。</p>	<p>計画への掲載を検討するものとして、地域の活性化について書かせていただいています。農村地域、全市域のもそうですが、いろんな地域の活性化というのが重要で市の総合計画にもあります。その中では、農業が三田市の基幹産業であるというような位置づけもしております。そこを担っている農村地域の活性化なしに三田市が三田市であることはなかなか難しいのではないかと考えているところではあります。</p> <p>誰がどのようにということですが、先日もこの意見交換会を開催する前に関係部署を集めて、「こんな説明をさせていただいて意見交換をします」というお話しをしました。その中では、当然、農村地域の活性化についてもお話が出てくると思いますので、それについては市をあげて取り組んでいくと、市長もそういった指示をしておりますので、それについては三田市役所全体でという形になるかと思っています。</p> <p>具体的な取り組みとしては、農業振興の分野など、いろんな分野があると思いますし、それぞれの地域全体のご意向みたいなものも確認をしていく必要もある</p>

		<p>と思います。どんな地域にしたいというご意向も地域の中ではあって、志手原校区では地域計画というようなものもできているとお聞きをしておりますので、そのあたりを市役所とも共有をして、市役所と地域の皆さんの役割分担をしながら、より良い地域になっていくように取り組んでいきたいと思っていますところでは。</p> <p>そういった計画がない地域もありますし、そういったことが始まっていない地域もあります。ただ地域の活性化にあたっては、皆さんがどんな地域にしていきたいのかというところについては、現状も含めて、一緒に考えていかなければならないのかなと思っています。一度に済むものではないですし、少しずつ前に進めていかなければいけない部分もありますので、何かありましたら、まず私たちが担当部署につなぐことも可能ですので、何なりとお話しただいたら結構でございますのでよろしくお願いいたします。</p>
--	--	--

三田市立幼稚園再編計画（案）意見交換会概要

【高平小学校体育館：出席者数：38人】

日時：6月26日（土）15：00～17：20

発言者	出席者の発言等（概要）	市の回答等（概要）
A	<p>今日の会の目的は意見交換という話でしたが、去年と何が違うのかを教えてください。</p> <p>まず会の目的というのは、去年したものが、びた一文反映されていないというのはどういうことかというのが率直な疑問です。</p> <p>スライド13、14が、僕は今日の会の肝だと思っています。なぜ詳細を資料に書いていないのですか。項目だけで詳細を書かないとわからないです。</p> <p>去年の総合計画のワークショップでも同じような話があり、三田市は人口減少します、もうニューノーマルで、新しいアイデアでいこうではないかというワークショップだと理解して私は参加しました。</p> <p>第5次総合計画が動いていると思いますが、第5次総合計画の議事録でも、新しいことをしていこう、三田はニュータウン、旧市街地、農村部のバランスだという議論になっていると思います。</p> <p>前回の意見交換会の話にもありましたけれど、完全に農村部に対してデメリットしかない、デメリットしかないというのはちょっと言いすぎですが、総合計画と一致してないのではないですか。去年の意見にもありましたけれども、まちづくり全体の中からこれをどう見めるのかというところをどういうふうにお考えなのか。もっと言うと人口減少は三田市全体の課題、日本全体の課題という中で、いつまで人口、人数をベースに話をしているのか。今はニューノーマルで、人数に頼らない議論をする時期ではないかと思います。今回乗り切っても、5年後また同じ話になります。</p> <p>去年の説明会で出された意見が20ぐらいあると思います。</p> <p>責任者である市長が来てくださって説明する機会がいつあるのかという話。まちづくり全体の課題の中の幼稚園再編ではないかという話。</p> <p>高平の人にとっては一番の注目かなと思いますが、なぜ志手原にするのか、なぜ高平ではないのかというところの納得がないという</p>	<p>今回の意見交換会の目的でございますが、昨年に各地域を回らせていただいて、この案に対しまして、さまざまなご意見を頂戴しました。そのご意見について持ち帰りますとお答えをしている部分は何個もありましたので、それについて改めてご説明をする機会を設けて、その上で意見交換をさせていただくというのが、2回目の意見交換会の趣旨です。いただいたご意見につきましては、受け取りまして、この再編計画案の内容について検証するということを想定しております。</p> <p>これからどうなるのかというところですけど、現在もこの再編計画は案のままです。</p> <p>去年の意見交換会で、いろんなご意見を頂戴する中でこの再編計画案の中に盛り込むべき事項もあるということは私たちも考えています。</p> <p>その内容として、安全確保や地域の活性化についてのご懸念等もいただいています。地域の皆さんとしっかりと前に進めていくというような内容については、この再編計画案の中に盛り込む必要があるのではないかと考えています。手続きもございますので、再編計画案そのものを変えていませんけれども、その内容については、市でも議論をしてみたいと考えています。</p> <p>これからのことですが、この2回目の意見交換会で、いただいたご意見につきましては、庁内で検証をさせていただきます。</p> <p>その後、市長の意思決定や教育委員会の意思決定等もありますので、今のところそのあたりについては予断を持ってお話することはできませんけれども、流れとしては、先ほど言ったようなことを踏まえて、そのことを反映させたこの再編計画案の修正案をつくっていく。それを総合教育会議にかけた上で、その中でご議論いただいて、それをもってパブリックコメントをする。それに対して市民の皆様のご意見を頂戴するといった流れになると考えております。ただ、今回の意見交換会の内容にも関わることで、現時点でそのとおり進むと決まったものではございません。</p> <p>園区外からの子どもさんの入園、幼稚園のことをPRできてないのではないかというお話ですが、園区外の入園は平成22年度からの取り組みで、最近減ってきています。三田幼稚園では平成23年度の園児数が117人中、園区外から13人來られています。平成24年度は141人中16人で、だいたい16人、17人ぐらいの</p>

<p>のが去年の話だったと思います。</p> <p>人数に根拠がないという話でしたが、去年、人生を左右する出来事だと言われた方がいましたが、人生を左右する出来事に根拠がないではどう説明するのか。それは少し乱暴ではないかと思えます。</p> <p>保護者ニーズの確認。おそらく1歳から3歳保育というニーズはあると思いますが、それと今回の高平から志手原というのは別の話だと思えるので、そこをごっちゃにして話をするのはやめてほしい。</p> <p>平成22年から園区外に開放しているという話だったと思いますが、これについて、どれぐらい広報をしたのかと、どれだけニュータウンの方はこれを認知しているのかというデータはないと言われていたと思いますが、市が園区外に開放しようとおそらく人、物、金をかけてやっているのに、それに対して調査していないというのはどういうことかと思えます。</p> <p>もっと言うと、私の知り合いが市役所の幼稚園の部署に行ったときに、公立幼稚園のブースがあったみたいですが、数年前からアップデートされてない。高平幼稚園のところが物が置きになっていると聞きました。幼稚園を広報する気があるのかと思えます。</p> <p>今でなくてもいいのではないかという意見に対して、なぜ今なのかというところもご説明がなかったと思えます。</p> <p>高見部長が強調されていたのは、今回はあくまで案だという話をされたと思いますが、今でも案という理解でいいですか。この後、どうなるのかということをお教えください。</p>	<p>数字で推移しています。最新では、令和3年度は三田幼稚園の園児数89人中、園区外からは8名来られています。今年度の市立幼稚園全体では252人中、園区外は35人で、割合でいうと14%程度です。</p> <p>これは、広報が足りてないのではないかと感じられているのかもしれませんが、実際に選んで園区外から来られている方も一定数いらっしゃるのではないかと、私たちはこの数字を見中では感じています。</p> <p>高平幼稚園に園区外で来られている方でいうと、12人中1人と思いますが、申しあげたとおり、どれぐらい広報したかという話だけではないというふうに思っています。</p> <p>なぜ今なのかというところですが、人数に頼らない議論をといるところがありましたが、根拠がないというお話でしたけれども、例えば5人のお子さんで育てその後どうなったとか、10人のお子さんで育てどうなったとか、それについて数値化できるとかいうところは、正直なところ難しいかなと思えます。繰り返しになりますが、幼稚園を考えたときに、集団というところがまずあってだろうと思えます。</p> <p>高平幼稚園は今、12人ですが、そもそも12人の人数を目指して設置をしてきた園ではないです。たくさんのおさんがいていただいて、その中で、友だち同士で学んでいただくということを目指してきていたところではあります。</p> <p>ただ現実として人数が減ってきたというところではあります。高平幼稚園が20人規模でいいとか、10人規模でいいとかというところを考えると設置をしてきたわけではありません。園児数の推移で、平成13年度は57人でしたが、平成23年、24年の約10年経ったところでは28人という状況です。これは決して私どもも望んでいるわけではなく、やはり人数がいて子どもさんたちに学んで欲しいと思っています。</p> <p>もちろん今、高平幼稚園に通わせていらっしゃる保護者の方々が、今の園の中で行われていることに対して、何かご不満をお持ちだとかいうようなことは、職員も一生懸命に取り組んでいると思えますし、地域の方も子ども達にいろんな経験をさせていただいて、園を盛り上げていただいていると思えます。</p>
<p>まず広報の件ですけれども、統合ということは最終手段とあって、やるべきことをやってからという意見があったと思えます。その一つが広報ではないですかという話をしています。</p> <p>ニュータウンの人がどれくらい認知しているのか。みんなが認知しているけどやっぱり来ないというのであれば、まだ理由はつく</p>	<p>私たちが集団を確保したいというところ、集団の教育を前提としたときに、高平を認定こども園にする、あるいは他の幼稚園もそうですが、全部を認定こども園にするとなったときに、今園区内にいらっしゃるお子さんの人数、新たにつくる認定こども園としたときの園区内の人数はご覧いただいたとおりです。</p> <p>認定こども園にしたときに園区外の子たちも来て増えるのではないのかという</p>

<p>思います。市役所内の幼稚園のブース、私はこの目で見ていませんが、幼稚園の紹介コーナーがあまりにもひどいと聞きました。そういうことだと思います。だから、やることをやってからそれでも仕方ないから統合ということなら分かります。そこが言いたかったことです。</p> <p>去年、志手原ありきではないですかという意見と、高平に認定こども園をつくってほしいという、その案を複数、出していただいて、検討してほしいという話もあったと思います。そのあたりの議論はされましたか。</p>	<p>お話かもしれないですけども、それぞれの地域にある施設に既に通われていますし、そこに施設はある状況です。私たちが集団を確保することを考えたときに、全園を認定こども園化ということは、長時間の保育サービスにも対応していかないといけない。人材も確保してないといけません。</p> <p>その中では、場所として、高平なのかとか、志手原なのかとかいう議論はあるとしても、全園を認定こども園化するのは、現実的には難しいと考えます。</p> <p>ただ、なぜ場所が高平ではないのかというご意見をいただくというところは、その地域の方々のいろいろな思いがあると思いますので、私たちも十分にわかる場所です。</p> <p>広報のお話がありましたが、昨年そういうお声を聞かせていただいたので、市としましてもホームページを見やすいものにしたと考え、公立幼稚園の市のホームページを更新し、園が取り組んでいる内容なども発信したいという思いで作直しています。10月に園児の受入人数が確定した中で、私たちも少なくなっていることを何とかしたい、公立幼稚園に来てほしいという思いもありましたので、入園の受付をしていることを2月の広報にも載せたところですが、人数としてはあまり増えていません。</p> <p>園区外のお話がありましたが、平成22年度から受け入れし、園区外からも来ていただいています。多いときであれば、69名や61名のおさんが来られていた年もありますので、ある程度は周知できていると考えています。園区外から来られているお子さんについては、三田幼稚園、三輪幼稚園、広野幼稚園あたりが比較的近いということで選ばれていると思います。</p> <p>それからもう一点、誤解があるといけないので、先ほどブースのところが物置きようになっていたという話がありましたが、決してそんなことはないです。またぜひ見に来ていただけたら嬉しいと思います。できるだけ私たちも公立幼稚園の良さを皆さんにわかってほしいという気持ちはありますので、そこはお伝えだけさせていただきます。</p>
<p>今回の目的は、子どもに対して安心安全、教育の充実というところだと思います。安心安全、教育という軸において考えたとき、なぜ志手原なのか、なぜ高平ではないのかという点を知りたいです。</p>	<p>高平の地域の方々は、高平幼稚園のことを大切に思っているところも十分にわかります。これは高平地域の方だけではなく、志手原もそうですけれども、藍幼稚園、本庄幼稚園、広野幼稚園、小野幼稚園、母子幼稚園、どの幼稚園区の方もその園区にある幼稚園のことを大切に思っていると思いますし、自負するわけはありませんが、愛していると思っています。そういう意味でいうと、高平幼稚園区では高平幼稚園を認定こども園にしてほしいというお声が出てくるのも十分理解できます。</p>

		<p>ただ、認定こども園にして、これまでの午後2時までの幼稚園という形ではなく、長時間お預かりをするということは、就労されている保護者の方々の支援というところでは考えさせていただかないといけないところです。</p> <p>決して幼稚園そのものとして、志手原がいいとか、高平がいいとかという選択をしているわけではなく、保護者の方々が働かれているおおよその場所、就労場所を考えさせていただくと、市街地という方向に向くのではないかとということです。その中で考えさせていただくと、場所としては志手原という案をお示めさせていただきます。</p>
	<p>おっしゃっていることを私なりに理解すると、認定こども園化というのは子どもの安心安全、教育を第一に考えていますけど、場所に関しては、急に就労支援という軸で考えたという話ですね。</p>	<p>急にといいますか、子どもさんの学びと子育て世帯の支援というところが、再編の目的ということで、二つお示しをさせていただいています。その二つの観点があるということです。</p>
B	<p>資料集15ページで志手原はどここの区域に入りますか。</p> <p>三輪ということはより都市部のところを含んでいると思いますが、C分のAというのは、三輪がマイナス5.39%、高平がマイナス2.4%なので、減少率としては高平の方が三輪より弱いですよね。志手原地区単独で見れば、出生率もそんなに増えてないですし、高平より多いということはないので、志手原にする根拠はないと思います。就労支援ということを言われていたので、就労支援のための認定こども園だということをもっとはっきり言っていただきたいと思います。</p> <p>子どもの数の下限というのは法的には決められてないですし、科学的な根拠も絶対あるわけではないです。私たちの子どももかなり少人数で生まれてきていますし、幼稚園も行っていきますので、その子どもたちが将来どうなるかというのは、長期の調査というのが行われていません。市長がよく子どもの集団の適正な規模の確保のためと、子どものためだとおっしゃるんですが、根拠はないのであれはやめていただきたいと強く思います。子どもに対してインタビューしたわけでもなく、基になっている文科省が使っている調査も幼稚園の先生たちや園長に聞いたデータですので、子どもが本当にどう思っているか、実際将来に協同的な学びをした結果どういう地位を得ているのかとか、学力にどう繋がっているのかというデータがない以上、そこを強く言われているのはおかしいと思います。</p>	<p>志手原は三輪地域ですが、三輪小学校区と志手原小学校区に分かれていて、三輪に含まれているので、志手原の部分だけの特性というのが抽出できていません。</p> <p>就労支援のための認定こども園ではないのかというお話だと思いますが、長期的に少人数の園にいらっしゃった子どもさんが、成長された後、言葉が適切ではないかもしれませんけれども、何か支障があったとか、何か明らかな数字が出ているわけではないということはそのとおりです。</p> <p>ただ集団規模の確保が大前提であって、先ほど就学前の子どもさんの施設の在籍状況を確認した中で、園区の中で市立幼稚園を選ばずに他の就学前施設に通われている子どもさんが一定数いらっしゃるという中では、もともと市立幼稚園は少ない人数を望んでいるわけではないので、認定こども園化で保育のニーズがある方も通っていただくことで、ある程度、人数が一定のものになって、子どもさん同士が学ぶ環境として、より良いものになるのではないかとということです。</p> <p>就労支援というところを全面におっしゃっていただけたらわかりやすいと思うので、そこは再編の目的のところでも明らかにしていけないかと思っています。</p> <p>市街化調整区域があることによって、一定の建築規制がある状況はもちろん承知しております。ただ一方で、高平地域が市街化調整区域であることもそうですが、農村地域での農業振興ということで優良農地というようなところもあります。人口が増えていくために足かせになっているのではないかとご意見だと思いますが、これまでから皆さんが住んでいらっしゃるこの高平地域は、平成10年に市街化調整区域になってから20年が経ちますが、自然環境が豊かな状況が続いてきています。</p>

<p>正直に就労支援ということをお願いして、そのためにそこに必要なんだということをお願いされた後で、私たちとしては、やはり市街化調整区域の人数が減り続けているという問題自体は解決していないので、ここに住む人をもっと増やしていく手当てが必要です。</p> <p>今までそのことの手当てをされてきていない中で、なし崩し的に就労のために最も便利なのが志手原だというふうに決まってしまうのは、市街化調整区域をどうするかという議論をした後に決めていただきたい。ちょっと早すぎるのではないかなという気がします。</p>	<p>もう一つ、人口で見ると高平地域では、平成13年に4千人程であった人口が今は3千人で、千人程減っています。</p> <p>今、一世帯あたりの人口は3人もいない状況だと思います。仮に3人としても千人の人口を元に戻そうとすると、ざっと計算して300世帯ぐらい必要かと思えます。300世帯を受け入れるということになると、それなりの規模の開発ということになると思います。</p> <p>今すぐに市街化調整区域をどうにかして人口を増やしていくということは、正直しづらい部分もあります。ただ、平成27年だったと思いますが、いわゆる分家住宅、子どもさんが新居を建てられるときとかの要件を緩和することは一部なされているようです。先程申しあげたように何百世帯という方々を受け入れるような開発というのは難しいと思います。</p>
<p>市街化調整区域ではないようにしてほしいという意味ではないですが、高齢者の一人世帯が多いということは、将来そこは空き家になります。65歳以上ということは、先々20年ぐらいにものすごい数の空き家が出てきますが、それは300世帯分ぐらいあるかもしれない、今は身近な空き家をいろんな人に見に来られますが、その所有者がわからなくて交渉もできないとか、空き家だけ手放さないという人たちがいっぱいいて、農地の取得も簡単にされたというのでも知っています。空き家専用の人材を置いていただいて、きめ細やかにやっていけば、どんどん埋まる可能性もなくなっていくと思っております。</p>	<p>少し前のデータですけど、高平地域には60ほどの空き家があるそうです。若年層がどんどん出ていって、お父さんやお母さんが残っている。だから家は残っているけど、子どもさんはおらずに高齢者の単身であるとか、ご夫婦がお住まいになっているケースが多い。お住まいになっているので、なかなかそこにも入れないので、空き家はそんなになりに人口だけが減っているという構造がこの高平だけではなく、ニュータウンでも起こっています。</p> <p>それに対して、どのようにするのかということですが、今の段階で空き家ではありませんので、アプローチが難しい。ただおっしゃるとおり、これから空き家が増えてくる可能性がありますので、それについては市としても何とかしないといけないと思っています。それについての所管もありますが、地域の皆さんも、あそこは誰の家だとか、そのあたりの連絡がつくようになっていけば、割りとすつといくかなというふうに思っています。</p> <p>いずれにしても、若年層が出て行くと子育て世代が減っていくので、その下の子どもさんが減って行って、またその人たちの年齢が上って、また減っていくというような悪循環になっているのが今の人口減少のメカニズムとなっているので、そこを何とか止めたい。そのためには、今まで若者の方が就職や進学で出られている方もいらっしゃると思いますし、結婚してもここが選択肢になっていない方もひよっとしたらいらっしゃるかもしれません。</p> <p>私たちが思っているのは、働きながらでも預けられるようなところとして、認定こども園をつくることで、PRになるというか、アピールポイントになるのではないかなと考えています。午前8時半から午後2時までのお預かりでは、働きながら子育てをするのが難しい方々も多くて、実際に今、ニュータウンや既成市</p>

		<p>街地まで送ってらっしゃる方も多くいらっしゃいます。それらのことを考えましても、その方々が新しくできる認定こども園に、あるいは、今お住まいになっていないけれども戻ってきてここで子育てしてくれないかというような形でお声掛けをしていただく、そういった地道な取り組みが結果として人口減少を抑制していくのではないかとこの考え方もあります。</p> <p>開発をして人口を増やすというのは、先ほどの人口ピラミッドでニュータウンを見ると、飛行機のようになっていた形が、令和2年には、その下の山がなくなっています。ニュータウンの宿命というのは、そういうところもあります。</p> <p>一度に増えると、子どもが成長して家を出ていってしまって、空白になってしまうということもありますので、時間をかけて少しずつやっていくものとして、市街化調整区域の規制についての検討も今、庁内でしていますので、そこも合わせて活性化策というのは考えていかないといけないと考えています。この認定こども園の取り組みが一つでも前向きな要素になるといいなというふうに考えています。</p>
C	<p>幼稚園教育には一定の集団が必要ということですが、その根拠もはっきりしていないし、中学校も高校も小学校も幼稚園も少人数学級の良さというのがあるはずですけど、市教育委員会では一言も語られることがないです。それも加味していかないといけないと思いますし、大人数の小学校から亀岡の小学校に転校してきた子どもさんは、少人数学級で何年間か過ごすうちに、みんなと触れ合う機会が多いし、自分の意見が言えるような場面も多いし、大人数のところではとてもついていけないという思いで悶々としていたのがすごく変わったということで、こういった学校が素晴らしいということを言われています。</p> <p>どんどん人口が減ると言いますがけれども、高平、母子、小野、志手原の今の場所に一つずつ幼児教育を残して、そこに保育の必要な就労の必要な人たちも受け入れるような両方を兼ねたようなものを各地域に残していくことで、三田の将来性もあると思います。幼稚園の人数が減ると書いてある数字ですけど、保育所に行っている子どもたちが本当は地域で子育てできたらもっと安定した、ご両親もそういったことにもなると思うし、そういった大事な時期に市としても予算をつぎ込んでもいいのではないですか。</p> <p>市教育委員会は少人数学級のことを一つも言ってくださらないで</p>	<p>小学校の少人数学級、亀岡の事例もお話いただいて、少人数の中で学力がというお話もありましたが、幼稚園の子どもたちの集団が必要というところでは、何か能力といったものが、数字でこうなるというところを計るということではなく、集団の中に子どもさんがいらっしゃる状況をつくっていく。それは多くの同年齢の子どもさんと関わっていく、その多くのところですが、今回も望ましいのは15人という下限にしていますが、これも決して多い人数ではないと思います。</p> <p>園区で保育所に行ってらっしゃる子どもさんがどのぐらいかという話もありましたが、資料集に0歳から5歳の園区内のお子さんの人数を載せておりますので、その中で保育所に通われている人数は、そこで見ていただけたらと思います。</p> <p>2人でも3人でもというようなお話もあったと思いますが、実際に今、母子幼稚園は2人、小野幼稚園は3人です。私も今年、何度か見に行っています。もちろん2人でも3人でも子どもさんたちは楽しそうな顔をして、先生と一緒に過ごしています。私個人の意見だとおっしゃられるかもしれませんが、もう少し多くの子ども同士で関わる機会がもてないかなというふうに感じます。少ない人数で、地域の方も先生にも多く関わってもらって、愛情をいっぱいもらいながら育っていると思いますが、やはりもう少し多くの子どもたちとの関係があった方がいいのではないかと感じています。</p> <p>3歳や4歳で幼稚園に行くことの意味というのも考える必要があると思っています。2歳、3歳まではご家庭で温かい愛情のもとにお過ごしになっている、あ</p>

す。ものすごく良い点がいっぱいあると思いますが、口を開けば、切磋琢磨できる人数が必要だと。切磋琢磨がないのが将来駄目なのか、何かそんなふうにはばかり語られているというのも納得がいけないなと思います。子ども時代を大事に育ててもらったら、三田を愛する方がどんどん増えて、三田で暮らすという循環ができていくと思います。

自分たちが育ったときに4つあった幼稚園が1つになって、もっとも減るといふからどうなるのかと思いますし、それでも幼稚園も学校も残してくれたという方が子どもたちには響くと思います。その子たちが三田は良いところだということが実感できて、本当に50年、100年で日本全体が先細ると、日本人がゼロになることもあると聞きましたので、本当に恐いことだと思います。

三田だけが減るのではないので、日本全体を増やさないといけない。育ったまちが好きになるようなまちづくりが今できているのか。ちょっと心もとないのではないかと思います。

るいは、お知り合いのいる地域の中で成長されているというところだと思います。幼稚園というのは、ある意味、初めて異なるものといえますか、自分のことを知らない人たちに会う場ともいえます。そういう意味では、社会に出るための練習をする第一歩というところもあります。

幼稚園の先生は、社会に出て行ったときに、子どもたちが人間関係や社会との関わりの中で悩んだり苦しんだりすることのないように、自分を発揮できるようにという願いを込めて、いろんな環境をつくっています。これが6人ではいけないのか、15人がいいのかというようなことではありませんが、数が少なくなるにつれて、その多様な社会性を感じられる機会がどんどん少なくなっていく恐れがあるというのも事実かなと思っています。

そういったことを踏まえて、子どもたちが社会に出たときに、わたしたちがその子どもたちをずっと守るわけにはいかないということもあります。子たちが自分たちの力で社会を生きていくそのためにはどんなことが必要なのかというふうを考えて、幼稚園の中では教育をしています。

そういった意味では、家庭とは違う、あるいは地域とは違う学びをする場所ということになろうかと思います。その部分は、どこか線を引いて、ここからが家庭教育、家庭保育の延長というようなことではありませんが、持続可能性のことも考えて15人という設定をさせていただいています。

考え方といたしましては、あまり少なくてもいけないし、多すぎてもいけない。もちろん上限は35人や30人とかあります。その中で、例えば財政的にどうなのかとか、15人や5人という基準を設けるとなると、クラス編製の基準にもなったりします。5人がいいということになると、5人ごとにクラスをつくることにもなりますので、部屋や先生も全て用意しないといけないということも考えます。そうすると持続可能な幼稚園教育をするのが難しいということもあります。

もちろん幼児教育は大事だと思っていますので、お金はできるだけかけたいと思いますが、他のことにもお金が必要なことも事実です。幼稚園教育のお金を増やすと、その分どこかで減らさないということもあります。現状の中で何とかやっていく方法はないか、しかも子どもさんができるだけ集まっていたりするような、幼児教育ができるような園にしたいということを考えてみると、今、お示めししていますような集約させていただいて認定こども園にするという方向が出てきたわけです。

全ての地域の幼稚園を認定こども園化したらどうかという意見もありました。資料に園児数とスタッフの人数も書いていますが、午前8時半から午後2時まで

		<p>でこのスタッフの人数です。これを認定こども園にして、午前7時から午後7時まで開けるとなると、このスタッフでは足りません。そうなるとう本当に持続可能であるのかということが心配されます。行政のサービスですので、持続可能であるということも考えながらやっていかないとけないということを考えますと、各幼稚園を認定こども園にするのは難しいと考えています。</p>
D	<p>この意見交換会が法令上に則ったものかどうかというのを確認したいと思います。三田市オンブズパーソン条例第5条に定めている市の機関は、オンブズパーソンから調査結果の通知を受けたときは誠実かつ適切に対応しなければならないという条項があるのはご存知だと思います。そのオンブズパーソンから来た調査結果の通知の中には、抜粋しますが、再度の意見交換会が一方向的に案を説明し、それに対する意見を求めるといった形式的なものではなく、実質的な意見交換会の場となるよう、またこれまで開催した意見交換会で意見を持ち帰って検討した結果を踏まえた場となるよう、開催手法等を検討願いたいとあります。市はどのような手法を検討されたのかについて具体的に説明をお願いします。</p> <p>さらにオンブズパーソンは、パブリックコメントで意見交換会の手続き以外にも十分な協議ができるように多様な市民の意見を聞く方法を検討し、市民と十分に理解を深めながら本件、計画案の確定に向けて取り組んでもらいたいというふうに通知が来ています。</p> <p>一体どのような方法を検討されているのか、先ほどはまだ決まっていなから今後に任せるみたいなこと言われましたが、それでは、このオンブズパーソンからの通知を無視して、ダラダラと進めているということに聞こえてしまったので、大変心配しています。</p> <p>世田谷区の事例を見ましたが、たった一つの保育園を新しくつくるときに、区がしたのは、10回以上も市民集会を開き、市長も来て、意見を聞いて、市はこういう思いを持って、こういう理由でここに保育園を作らないと世田谷区は駄目なんだということを納得してもらえらるまで自分の言葉で説明することを諦めなかつたのです。</p> <p>今、各地で統廃合の問題、都心部では保育園がうるさいので新設が難しいという問題がありますけれど、成功しているのは、結局は市が本当の考えを、こんなに困っているという本当の気持ちですよ。その本当っていうのは、適正規模とか、大昔にどこかの大学の人が</p>	<p>オンブズパーソンからの通知の中で、協議をしていく手法で意見交換会だけではなくてというところのお話かと思ひます。今、おっしゃられたようにそのところがもちろんあるわけですが、手法の検討というところで通知が出ていることと合わせて、これは本当のところどうなんだということが伝わらないから納得感がないというところを今おっしゃったのかなと思ひます。</p>

	<p>どこかのコンサル会社と一緒にやってつくった言い回しです。それを全国の自治体でこうやって採用しているだけです。自分で用意した言葉でないものを聞いたって住民は誰も納得しません。</p> <p>私たちは高平に何が何でも幼稚園を残してくれと言っているわけではないです。ここでは反対意見が多くあったというような感想をお持ちですが、反対しているのではなく、市が何を考えているのかわからないのです。私たちはこんなに考えているのに、どうしてそんな訳のわからないことばかりで、何が何でも高平幼稚園をなくさないといけないと言われるのかが納得できていないのです。</p> <p>納得するには、お互いに本当の気持ちをわかりあえるまで話し合いたい、そういう機会を作ってくれというのがこのオンブズパーソンの調査結果の通知だと思います。</p> <p>市は本当にその開催手法を検討したのか。したのだったらどういう手法を検討したのか。今後、意見を聞く方法を検討しているなら、どのような方法を検討しているのかについて教えていただきたい。</p>	
A	<p>私の最初の質問で資料の詳細が肝だとおっしゃいましたが、なぜこの詳細を書かなかったのか。そこにもちょっと繋がるのではないかと思いますので、こちらについてリマインドさせていただきます。</p> <p>意見交換会ではなくて説明会を開催しています。議事録には三田市立幼稚園再編計画(案)説明会と書いてあります。</p>	<p>法的には意見交換会の取り扱いでさせていただいています。説明会というご案内をして開催をしたところはそのとおりです。それについてどのように位置づけるのかというところが意見交換会だということだったと思います。</p> <p>この高平での昨年の「説明会」で、説明会というのは市民の意見を聞く手続きとしてどれに該当しますかという質問があって、それに対して意見交換会とお伝えしました。今回意見交換会とさせていただいたのは、説明会という説明だと案が取れて、説明するだけの印象になってしまうのはよくない、これは市政の市民参加条例の手続きに則った意見交換会であることを明確にするためによりはありますが、前回も意見交換会の性格であったということはお伝えしておきます。</p> <p>今、意見交換会以外の手法ということだったかと思いますが、オンブズパーソンの通知に書いてありますような方法について、具体の何かを持っているわけではありませんが、今こうやって意見交換会を開催し、いただいた意見をどのような形で計画案に反映させていくかというところを検討していかなければならないと考えています。</p>
D	<p>市民意見を聞く手続きについてどういうものを開催するか手法を検討してくださいという通知です。その手法を検討してないのだったら、これから開催するということですか。</p> <p>意見交換会手続き以外にも方法を検討してもらいたいという結果</p>	<p>繰り返しになるかもしれませんが、手法としては今この意見交換会を開催させていただいているのが手法というお答えになります。</p> <p>おっしゃっているのは、オンブズパーソンから来ている通知の中で、パブリック</p>

<p>通知ですよ。検討するのですか、しないのですか。</p>	<p>クコメント、意見交換会手続きなど以外にも協議会を設置するなどというところのお話ですね。協議会を設置するという点についても私も検討いたしました。協議会のメリットとデメリットというのは一体何だろうか考えたわけです。地域の中でそういった協議会を作っていただいて、この案件について協議をいただくということがその肝かなと思いますが、一体何を協議するのかということにもよると思います。まずこの再編計画の是非そのものについて協議をしていただく、合議体をつくるということですか、イメージとしては。</p>
<p>私がこのオンブズパーソンの通知から読み取ったのは、そういうことではなくて、市の考えと市民の考えをすり合わせる場所、つまり今、完全に表面的に対立しているじゃないですか。高平幼稚園をなくしたい、何で高平幼稚園をなくさない駄目なんだというので表面的には対立しているけど、両方で考えていることは基本的に同じです。農村地域全体でより豊かな幼児教育環境を作りたいというところでは一致しているのに、どこをなくすとか、どこをなくさないということだけでもめています。</p> <p>市民は、いやこうでないと駄目なんですということを知りたい。市民は、配置をこういうふうにしなさいといけない、二つの園にしかまとめられないですという結果を納得できてないのです。</p> <p>だからこの協議会と言っているのは、どこに幼稚園を残すということを市民の中で協議する場ではなく、市の本当に考えていることを市民が納得し、また市民が本当に思っていること、本当はもちろん高平幼稚園に残したいでしょうけれども、それによって三田市は何を実現しようとしているのか。高平に幼稚園があることで良いと思うというのがあるからみんなは残したい。でもそれは、1回、2回しても伝わらないではないですか。みんなが長い論文を書けるわけではないですから、協議会という形ではなくてもいいから、ラウンドテーブル形式の集まりなど、開催の手法をよく考えてもらって、市と市民が本当に気持ちを通わせることができるような機会を用意してもらいたい。一方的に意見をやりとりしているだけだったら、結局はどちらも納得しない形で結果だけが残ってしまうということになるのではないかと心配しています。</p>	<p>私たちは公教育としての幼稚園を運営している立場の人間です。公教育としての幼稚園として私たちが思っているのは、集団による学び合う機会を子どもたちに作っておきたい、その環境を作りたいということです。まずそこについて皆さんと合意できるかどうかというか、私たちはそういうものをサービスとしてお示しをしたいということです。</p> <p>ただ、今までの午前8時半から午後2時までのこのサービスの提供の仕方では、ご利用いただいている方もいらっしゃいますが、その数がどんどん減っている状況です。こうなると私たちがしたい幼稚園教育は、なかなか子どもさんに経験していただけないという危機感があります。</p> <p>しかしながら子どもさんの数はどんどん減っている。これは民間との競争で減っているだけではなく、対象年齢の子どもたちが減っているのが大きな要因と思っておりますが、何とか幼稚園教育を本来の姿にしたいというのが私たちの第一番目の思いです。それを実施するための手法として、人的な資源などを集約しなるとなかなか難しいところがありますし、その資源を集約させていただいた后可以認定こども園という、割と長い保育サービスが提供できるということです。今のままでやるとなるとプラスアルファで人を配置するなど、なかなか出来ない状況がありますし、そもそも子どもさんが集まらないということもあります。私たちがやりたいのはそういうところです。</p> <p>皆さんが気にされているのは、その場所を高平にする、あるいは志手原にする、小野にする、母子にするということだと思いますが、それぞれの地域に行きますとそれぞれの方々がそういうご意見をお持ちになっているということです。高平が駄目だとか、志手原がいいとか、そんなことではないというのは先ほども申しあげたとおりですけど、我々が言いたいのはそういうことです。</p> <p>それが実現されるというのを我々が目指しているということで、その案としてこの再編計画を出させていただいているということです。</p> <p>それについて「高平の方がもっとこんなところだよ」とPRなどのお話もあり</p>

		<p>ましたけど、私たち行政の人間なので確実にそれが担保できるということが重要かなと思います。そのことを考えると、去年は5人いたけど今年0人だったというようなことでは、サービスの提供のクオリティとしてはあまり良くないということもありますので、できるだけそれが担保しやすいところとして志手原をご提案させていただいています。高平でこんなことができるという話もお聞かせいただいてもいいですし、ただ母子でも同じようなことを多分言われると思います。小野でも志手原でも多分言われるだろうと思います。</p>
	<p>住民の意見を聞いて、一体どこの部分を変えることができるのか、一切変えることができないのかということも知りたいですし、そういう機会が欲しいと私は強く思っています。私が聞く限りでは、参加者も市が言っていることがよくわからないという意見が多いので、一方通行の場ではなく、身近に市の考えや私たちの考えをやりとりできるような機会があれば、三田市のこういう政策を作っていくやり方の一つとして、今後にもとても良いことだと考えていますので、ぜひ検討していただきたいと思います。</p>	<p>参考までにお聞かせください。イメージされている意見交換のやり方ですが、思っていることを率直に出し合うという場合に、どんな場面といいますか、人数的なところもありますけれども、何かイメージされているところはありますか。</p>
	<p>ラウンドテーブル形式にして、市の人はファシリテーターとして議論を活性化していただく。個人的な印象ですが、市民も地方自治に対してどういうことを発言したらいいのかというのが、少なくともこの前の意見交換会の議事録を読む限りでは、必ずしもみんながそういうことに長けているわけではありません。みんなが好き勝手なことを言っているだけであれば議論にならないじゃないですか。私たちはこういうことを聞きたいんだということを、市の側が中心に立って、ファシリテーターとして活躍していただくと市民はこういうふうに住民は自治に参加することができるということを学んでいくことができる。そういうような機会を作ってもらえると素晴らしいとイメージしています。</p>	<p>市はファシリテーターでというようなお話でしたが、そこに参加される方というの、今回の意見交換会はどなたでも参加していただけるということにしていますが、多くの方がご発言される場を設定していこうということになると、やはり多くの人数というところは厳しいのかなと思います。ある程度、参加者の数は限定的になってくると思いますが、それはそういう感じだと考えられていますか。</p>
	<p>はい。そのかわり回数をこなしたい、地区ごとにするとか。</p>	<p>再編計画で場所をどこにするにしても、1か所にしないと資源的には私たちはできないということです。それを高平でお聞きするとか、母子でお聞きするとかという形にすると結局どこにするのという話をしないとイケない。</p>
	<p>大丈夫です。住民を信頼してください。自分のとこでないのと駄目ということにならないです。中学校の検討会も結果を出しました。あんなに揉めていたのに、みんなで意見を丁寧に出し合ったら、きっと合意にたどり着けます。私はそういう結末を期待しているので、</p>	<p>繰り返しになりますけど、わたしたちとしては、子どもさんの豊かな学びのためには、一定の集団がいて、友だちを作って、仲間を作った中で育っていく環境を作りたいという願いがあります。その基準が15人から30人というふうにお出ししています。どこかにそれができたらいい。しかもそれが持続可能で、最もや</p>

	<p>なんか嫌なことになってしまったというのではなくて、どこかにできたとしても、私たちが考えて、納得して、私たちのこども園ができたという形にしたい。私たちも市もそういう努力をやってほしい。この計画についても思います。</p> <p>例えば、小野地区や母子地区ということではなく、下槻瀬や上槻瀬とか、もっと小さい地区単位で話し合いができればいいと思っています。</p>	<p>っていけそうなところに作りたいと考えています。そういった制約があります。それは、高平地域だけではなく、志手原にもあるし、いろんな地域にもまたがっている。その中で私たちは一つしかそういった施設であれば置くことができない状況ですので、皆さんが合意に達して、ここにしようかとなっていただけたらいいなと思います。</p>
	<p>我々が合意するのではなく、市と私たちみんなが合意する場を形成したいと言っています。</p>	<p>最終的に認定こども園をどこに設置するのかというのは、皆さんのご意見は当然、お伺いしますが、最終的には市なり教育委員会なりの責任で決めていかないといけないわけです。</p>
	<p>それはわかっています。今回の計画は、単に幼稚園を統廃合するというのではなく、今後の三田市の幼少児教育をどうするのかという計画でもあります。単にここに作ったら幸せですという話で終わらせるのではなく、市長も言われていましたが、農村地域で今後どういう幼少児の教育環境を作っていくことが大事なのか、どういう考え方が市にも市民にも必要なのかをこれを機会に議論して、みんなで共有できるようになることが一番のゴールじゃないかなと思います。単にどこに幼稚園を置きましょうというような話にとどまるような議論で終わせたくないと思います。</p>	<p>そのことも含めて、持ち帰って検討させていただきます。</p>
E	<p>新しくつくる認定こども園は、なぜ0～2歳の子どもを預かっていただけなのですか。</p> <p>市内に私立の認定こども園はたくさんあります。そちらではなく、市立の認定こども園に預けるメリットとか、私立は0歳や1歳を預かってくれるところがあるので、このままだと志手原まで連れて行くならニュータウンまで行くと私は思います。</p> <p>中途半端なものをつくるのだったら、私立に全部お任せした方が、市の財政的にも圧迫されないので、市民のニーズに合ったものをつくっていただきたいと思います。</p>	<p>3～5歳だけではなくて、0～2歳も対応していただきたいというご意見だと思います。今の市立幼稚園は3歳児からの保育ということで、それをベースに考えているところです。今後は0～2歳も考えていかないといけないと思いますし、私立と公立との役割分担という話が出てくる可能性があるかもしれませんが、今のところは、3～5歳を実施しているところをベースにたって、保育時間を伸ばしていきたいと考えています。</p>
F	<p>長男が年長のときに引っ越してきました。長男が年少、年中のときは人数の多い幼稚園に通っていて、同じ規模の幼稚園を探そうと思ったら、高平地区から往復で1時間、1日だと2時間かかるので、断念して高平幼稚園に入れました。子どもは3人も高平幼稚園に</p>	<p>回答は不要ということでしたが、高平幼稚園で不満がないということについて、誠にありがとうございます。通園バスですが、ご自宅で働いていらっしゃる方もいらっしゃるということですが、1号のお子さんとは、保育時間がずれるところが出てくるのかなと思います。これもご利用いただける時間が可能な場合も</p>

	<p>お世話になっていますが、不満は一つもありません。三男に関しては、私が働いているので保育園に入れていましたけれど、高平幼稚園に転園しました。それもやって良かったと思っています。違う人の話で、私立幼稚園に行っている人がいて、高平幼稚園に行かせたいけれども、その幼稚園は3歳から制服を買わないといけなくて、制服を買うと行けなくなるという話を聞いたことがあります。</p> <p>高平幼稚園に行きたくても行けない人がたくさんいると私は思っています。私は高平幼稚園に通える時間で働いていますが、そういう人もいらっしゃるし、家で仕事されているお母さんもいらっしゃると思います。2号認定になると通園バスが使えないと書かれていますけれど、使えるようにはならないのですか。時間がないので回答はいいです。</p>	<p>出てくるかもしれませんが、そこは具体の実施段階でご相談できると思いますので、いただいたご意見も考えさせていただきたいと思います。</p>
G	<p>この会は幼稚園のことですが、私が見る限り、ご参加されている方でこれから幼稚園に入る保護者さんはいらっしゃらないと思います。どうしてかお分かりになりますか。私は他地域から結婚して、ここに来ましたが、三田市も地域も新しい人に冷たいというふうに思います。</p> <p>この会が開催されるのであれば、例えば、生まれてすぐの子ども達がいる父親、母親に具体的に手紙を渡して、こういうことが考えられている、こういう会があるということをされたことがありますか。おそらくないと思います。回覧で回っています。</p> <p>私は親と別棟のため、親が回覧を回してしまっていて、私たちは回覧を見ません。地域のことは何もわかりません。</p> <p>この会は、実際に幼稚園や保育園に入ろうと検討されている方に話がいていないと思います。それを確認するために私は来させていただきました。そういう方のお声を聞かれたほうがいいのかと思います。</p> <p>上の子は高平幼稚園に行き、下の子は保育園に行っています。上の子がなぜ高平幼稚園に行ったのかというと、正社員でしたが、親が65歳を超えていなかったため、入るところがありませんでした。高平幼稚園に入れましたが、すごく大変でした。下の子のときは、幸い親が65歳を超えていたので入れました。</p> <p>何が言いたいかというと、高平とかの田舎の待機児童率はおそら</p>	<p>ありがとうございました。就労されている子育て世帯への周知、保育事由のところの認定のお話、受け入れられるのであれば地元優先的というところ、それから0～2歳の需要といったところを聞かせていただきましたので、お声として受け止めさせていただきます。</p>

く高いです。なぜかという、家に祖父母がいて、農業されています。兼業農家で、60歳で退職して農業をされています。嫁側からしたら、一生懸命されている親を助けることができないではないですか。でも、保育園に入りたいのに入れられないのが現状です。

合併されて認定こども園ができて同じことが起きるので、その辺を解消していただきたいと思います。

田舎でおじいちゃん、おばあちゃんがいても、仕事をしていないという訳ではなく、その辺の配慮が全くされていませんので、しんどかったという思いです。

合併されて、親が共働きで就労している人がこのまま認定こども園に入れるかという、フラットに考えられるので、多分入れない。地域の子どもが入れるかという、そうではない。幼稚園の範囲で、3～5歳の1号の子どもは優先枠で入れるかもしれませんが、私たち就労者はフラットに考えられるので、いくら認定こども園をつくっても、それが高平の人口を増やすことには繋がらない。保育園に入れないので、結局離れていきます。

その辺のところはしっかり考慮していただきたいと思います。地元優先で確保していただけるのであれば、田舎のおじいちゃん、おばあちゃんは買い物に行くにも遠くて、ずっとお孫さんを見てられないのが現実だと思います。農業されて、足腰しんどい方もいらっしゃいますし、65歳枠とかではなく見ていただける環境がほしいです。

場所的な問題については、高平であれどこであれ、そこは市と皆さんで協議して一緒に考えていったら良いことです。私たち就労者としては、場所はどこは問わないです。言えるのは地元を優先してほしいというところと、待機児童がいるのに公立幼稚園の人数が少ないのは0～2歳がないからで、3歳まで仕事を休める会社はほとんどありません。3歳まで休んだらクビになります。3歳からの認定こども園をつくって何の意味があるのか。

0～2歳を入れていただきたいと思いますし、市のお金がおっしゃられるかもしれませんが、今ある場所というのは新しい私立の事業者が入ってきたい場所ではないかと思います。誘致したら良いと思います。新しく建てるとなるとすごくハードルが高いですけど、

	<p>せっかくある施設を誘致するという方法はなかったのですか。そのところをよくお考えになって今後話を進めていただきたい。</p> <p>今日はたまたま来れましたが、土曜日の午後3時は、就労者は子どもの習い事を入れたり、家の用事をしたりとかでなかなか来れないので、日中やられると困ります。そういったところで、意見を聞く気があるのかと思います。</p>	
H	<p>遅れてきて申し訳ありません。皆様方のご質問がたくさんあったと思うんですけども、3件ほどしか聞いておりません。今日は一つだけ確認したいと思ひまして、来させていただきました。</p> <p>皆様方、お手元に持っておられる三田市立幼稚園再編計画（案）ですが、これは議会をきっちり通っているからこそ、皆様方のお手元に届いていると認識しています。日本は民主主義国家で、三田もそうだと思いますので、議会で通ったものに基づいて市の職員の方々は説明をされているという認識をしています。</p> <p>来られている方々は再編計画案に問題があると思っておられると思います。この案自体に高平の皆様方は問題あると考えておられると私は思っていますが、この問題を行政に言っても仕方がないのではないかと思います。</p> <p>これを認めた三田市議会に問題があるのではないのか。市議会が通したからこの問題がこうやって皆様方のお手元に届いて、議論しないといけなくなっているのではないかと思います。高平にも志手原にも議員さんはおられますので、その方々に問題あるのではないかと伝えてもらわないといけなのではないですか。</p> <p>行政は市議会に通ったことに基づいて動くと思ひますので、その辺はいろんな意見があるとは思ひますが、行政に伝えてもなかなか曲がらないと思ひます。市議会のほうに意見を伝えてもらって、この案を変えてもらうように働きかけてもらったかどうかと思ひます。</p>	<p>この再編計画案ですが、議会の議決を経ているのではないかと踏まえたご意見ですが、この案自体は議決事項そのものではございません。つまり、議会の議決は経ていないということです。</p> <p>市議会の委員会には、この内容で地域の皆様にもご説明させていただきます、意見交換をさせていただきますということについてはご報告しておりますが、まだ議決をしているわけではございません。手続きとしましては、総合教育会議というものがあつて、その中でこの案で意見交換会をしてもらうようにとお願いしているものです。</p> <p>最終的には条例の案件にもなりますので、議会の議決事項、予算のことや幼稚園設置条例の改廃などもありますので、その辺りにつきましては、議会の議決が必要ですが、今のところは議会の議決を経たものではないということをご承知おきいただけたらと思ひます。</p>

三田市立幼稚園再編計画（案）意見交換会概要

【母子小学校体育館：出席者数：10人】

日時：6月27日（日）10：00～11：25

発言者	出席者の発言等（概要）	市の回答等（概要）
A	<p>私なりの意見で、場違いなこともあるかもしれませんが、聞いていただけたらと思います。資料を見ていると人数が減ることが前提でのお話が進んでいますが、なぜ増えることを前提とした話をされないのですか。減ることが前提として話が進んでいるのはなぜかなと思います。</p> <p>区で実施した保護者に対するアンケートの結果は、現在幼稚園に通われている方がほとんどなのでしょう。もし賛成意見がほとんどで、決定事項となって次の段階へ進んでいきたいと思いますという話になった場合、幼稚園に通われているお子さん、保護者の方は、その時期にはいらっしゃらないと思います。新たに子どもを出産されて、これから幼稚園や保育にお世話になる方の意見を聞かれていますか。</p> <p>子どもさんが卒園されて、保護者の方のこういうところが良かったという意見もあるでしょうが、これから施設を利用される方の意見を事前に聞かれてもいいのではないかと思います。そういった世代から聞かれているのかということがわかりづらいので、聞いていただいて意見をまとめていただいたらより良くなるのではないかと思います。</p>	<p>確かに印象として、人口が減ることを前提としたようなお話になるのかなと思います。これを行うことによって増やしましょうというお話ができていないのは確かですが、若い世代が出て行かれているという状況があるので、もちろん外から入っていただくというところもありますが、出て行かれるのを抑制することができないかと思っています。</p> <p>今の再編計画案では、こういう認定こども園みたいな施設を、広野や志手原を活用する形でお示ししています。園区としては確かに広いですが、少なからずそういう施設が地域の中にあることで、そこで子育てを引き続きしていこうと住み続けていただくことで、人口が流出をしていくことを少しでも止められる。それだけで全てだとは思いませんが、一つにならないかというところでは考えています。</p> <p>ただ、お伝えの仕方として、人口が減少している状況をずっとお話しておりますので、おっしゃられるような受け止めにはもちろんなるのだろうと思います。</p> <p>母子、永沢寺地区が実施されたアンケートにつきましては、どういった年代の方というところは、私も承知していないところがありますので、そこは申し訳ございませんが、お答えができません。ただ、これから子どもさんを産み育てられる世代の方々のご意見を把握していただいているというのはおっしゃられるとおりに思いますので、今後また検討させていただきたいと思っています。</p>
B	<p>再編後、公共交通手段、通園バスを考えられていると思いますが、一部の地域に住んでいる人は孤立すると思いますので、通園バスの具体的な導入をどのように考えられていますか。</p>	<p>通園バスにつきましては、閉園となる幼稚園のお子様を認定こども園までお送りさせていただくということで、幼稚園から認定こども園だけではなく、もう少しきめ細やかな送迎を考えております。1号のお子様は無料での送迎を考えております。</p> <p>具体的には、計画が確定して認定こども園の開設前に実際に通われるお子様の住所などがわかりますので、その際に地域の方や保護者の方と具体的なルート等を検討したいと思っています。</p>
C	<p>こういう説明会には、必ず出席してお話を聞いてきました。今日は歩いてきましたが、ちょっと足取りが重かった。それはなぜかという、話を聞けば聞くほど、言葉は悪いですけど丸め込まれてい</p>	<p>幼稚園というのは、やはり子どもさんたちが友達や仲間と一緒に学び合いながら、社会に出たときの準備を徐々にしていくための一つの最初の入り口としてあるのではないかと考えております。そういった観点から、お友だち、仲間がたく</p>

	<p>くと自分の中で、それがちょっとしんどいと思いつつも足を運ばなければ改善には繋がらないという思いで来ました。</p> <p>中身については重々理解をしています。ただ母子・永沢寺地区にとって幼稚園の問題は、小学校の問題でもあると考えています。そういうことを考えなければ、すごく魅力的な内容です。私がこの地域に住んでいなければ、賛成していたかもしれないです。</p> <p>私の中で賛成できないのは、この地域の状況を考えるとあまり良い方向ではないと実感しています。志手原の方に移って、三田市が活性化するという考えですけど、それでは地域の活性化にはならないと私は思います。</p> <p>今、中学生は志手原の方まで行っているの、子どもたちは結構エネルギーがあります。送迎バスがあるとはいえ、幼稚園児が毎日、志手原まで大変だという思いもあります。小学校になれば、母子小学校で学ぶという形になると、果たして中身の充実イコール、子どもたちの充実になるのだろうかという思いもあります。</p> <p>その辺のところをどのように考えて進めていけばいいのかというところで、私の中ではすごく悶々とした迷いの中にある状況です。良い悪いとか、こうして欲しいとかは今見つからない段階になっています。きっと計画を立ててくださっている方々も同じ状況の中で、模索しながら見出していこうとされていると思うので、一緒になっていい方向へ行きましょうというような意見を出させていただいて、私の思いをお伝えしたいと思います。</p> <p>地域の活性化と幼稚園、小学校、中学校の子どもたちの発展に向けて何か良い方法を見いだせたらなという願いを持っています。</p>	<p>さんいるような場所での幼稚園というようなことを想定させていただいているところでは。</p> <p>ただそうすると、この母子から幼稚園がなくなってしまうということについて、すごく残念なお気持ちや、子育てをするときに何か支障はないだろうかというようなご心配もあるのではないかと思いますし、地域の活性化に本当にそれが繋がるのかということもご心配ということはよくわかります。</p> <p>この意見交換会に入る前には、私たちも庁内で、意見交換では地域の活性化というご意見も当然いただくとおもうので、各関係部署の方々も一緒に地域の活性化に努めるように各所管の方にもお願いしたところですし、市長自身もこの件については、市全体で進めるようにという指示をしています。</p> <p>この幼稚園再編、つまり現在の園を集約して認定こども園をつくり、少しその場所は遠くなりますが、働きながら子育てができる環境を農村地域内につくりたいというのが一つで、同時に若い世代が残っていただく、あるいは若い世代を呼び込むような移住定住の政策についても強化をしていかなければならないと考えているところです。どんな地域にするのかということも地域の皆さんと一緒に私たちも考えさせていただきたいと思います。</p> <p>今の再編計画には、そういう皆さんのご心配、ご懸念のところが書かれていない部分もありますので、地域の活性化にも地域の方々と一緒に考えて取り組んでいきたいということについての担保といえますか、そんなことについても再編計画に書いていくことも必要ではないかと考えております。地域の活性化については、私たちも皆さんと一緒に取り組んでいきたいと思いますのでよろしくお願いたします。</p>
D	<p>計画案の週5日や長期休業中も見てもらえるというサービスがあるのは多少魅力ではあると思います。</p> <p>設置場所に関して、志手原と広野と計画されていますが、親が仕事とかをしやすいようにということですけど、新しい2園を選択はできないのですか。例えば、母子であれば志手原となっていますが、母子から広野に行くことは可能ですか。仕事先が三輪の方に行く場合には、志手原へ行くことは容易ですが、学園やテクノパークへ行く場合は、広野の方が便利ではないかと思えます。選択できるとまた一つ魅力があると思えます。</p>	<p>幼稚園に通われるお子さんは1号ということで、園区はありますが、基本的にはどこの園に通っていただいてもいいことになっています。今回再編をするにあたっては、幼稚園として通われる1号認定子どもといわれるお子さんは、元の園区内を基本として優先という話をしています。</p> <p>保護者の方がお仕事されていて保育が必要な2号認定子どもといいますが、これは幼稚園の園区が限定されるものではなく、全市的な利用調整となります。お子さんが広野の方を利用になりたいということでお申し込みされると、入所の調整の中で決定し、先ほどおっしゃったように保護者の方の送迎により通園していただくこととなります。</p>

	<p>その際に送迎の問題があり、それなら志手原へ行くしかないとなる場合と、自家用車で送り迎えするから選択肢を持たせてもらうなど、検討してもらえると嬉しいです。</p>	<p>基本的に幼稚園へ通われるお子さんについては、園区がありますが、幼稚園として通って、その後、預かり保育で預けたいというお子さんが再編で統合された園ではない園に行きたいということも十分考えられますので、そこは定員の範囲内ではありますが、十分に考えられるところだと思いますので、内容として検討させていただきたいと思います。</p>
E	<p>今日は母子幼稚園の説明に来られているにもかかわらず、資料が小野地区の人口推計になっている。小野地区といってもここは母子幼稚園ですので、母子の推計を資料として出していただきたい。</p> <p>再編計画のスケジュール関係の説明がされていません。今幼稚園に通っている子どもたちは、令和6年度には小学校に上がっているので、その辺もきちんと説明してあげないといけない。</p> <p>母子、永沢寺地区でアンケートを取りました。いただいたのは、50歳以上の方が約88%であり、それを大前提として考えていただくと少し違うかなと思います。自分たちも子どもたちの年代の方々の意見を吸い上げたいと思っています。今出ていっている人たちは帰ってくる気持ちがあるかないかのアンケートを取っていくべきと考えています。</p> <p>幼稚園再編は、地域全体の大きな問題だと思っています。他の幼稚園と違うのは、母子小学校は小規模特認校であり、三田市ではこしかない制度です。今年是小規模特認校制度で小学校に来られている子どものきょうだいも幼稚園に来られている。小学校の人数を増やすための一つの魅力として、幼稚園もここにあるから小学校と幼稚園は考えられるという保護者もおられる。</p> <p>こういうことも考えると、幼稚園がなくなると小学校に行かせたいけど、幼稚園は違うところに行かないといけないということも実際に出てくると思う。三田市として小規模特認校制度の小学校をどう生かすかという問題の中では、他の幼稚園とは違う考え方を持っていただきたい。教育委員会と子ども・未来部、一つの三田市として決めていただいて地域の人にも説明していただきたい。</p> <p>一番皆さんが気になっているのは、通園だと思います。これは今後検討していくという考えをされているようだが、そうではないと思います。この場合はこうしますとはっきり言えるような、その都度の対応で行くというような話をされると皆さんは納得されないと</p>	<p>人口の資料については、またお示しさせていただきたいと思っております。</p> <p>スケジュールのお話もいただきました。確かに再編計画案では6年度というところですが、現在この計画が案のままの状態ですので、スケジュールが後ずれする可能性もございます。</p> <p>定員のお話ですけれども、資料集12ページの就学前施設在籍状況に4地区の園区内の0歳から5歳の人口を掲載しています。3歳児が28人、2歳児が23人、1歳児が30人、0歳が15人で、この4つの園区内の子どもさんの今いらっしゃる全ての数ですので、認定こども園にすることで、この方々が全て来られても、受け入れられると想定しております。優先順位としては、閉園をした園区が優先になりますので、志手原、母子、小野、高平以外の園区の方の入園よりはこの地区の方々が優先ということになります。</p> <p>小規模特認校については、三田市では母子小学校のみで実施をしております。これまでも何人かここで学んでいただいている、現在も学んでいただいている状況です。この母子小学校を小規模特認校として選ばれるときには、実際にここへ来ていただいて、母子地域の状況、学校の校舎や教育活動を見てもらいながら、ここが良いということで選んで来ていただいています。</p> <p>母子の魅力、小学校の魅力というのにもたくさんあるかと思いますが。自然環境であったり、校舎であったり、一輪車の活動であったり、そして地域の方に支えていただいているという状況など、さまざまある中に、同じ棟の中に幼稚園があつて、そこで学んでいる。小学校と連携をして教育活動ができるということも選んでいただいている方にとって非常に魅力ということだと思います。そういった状況があつて、いろんな魅力がある中で、どれに着目されるのかというのは、その方が選ばれるときのそれぞれの視点もあるのかと思いますが、魅力を感じていただいていることは事実かと思っております。</p> <p>小規模特認校は市内で唯一ですので、制度を継続しながら今後も取り組んでいくこととしている状況であります。今日いただいたお話は、一旦持ち帰らせていただいて、教育委員会と子ども・未来部と一緒にどうするのかといったところを、ご意見に対してどうお答えするのかということも含めて検討をさせて</p>

<p>思いますので、お願いしたいと思います。</p> <p>ここは幼稚園、小学校が一貫教育の中で進んでいるところで他のところとは違います。</p> <p>志手原の定員がオーバーしたときのこと考えておられますか。これだけの地域をまとめてしまうと、優先順位があるのかもしれませんが、認定こども園にすると3歳からは認定こども園に行かせたいとなると定員がオーバーする可能性がある。初めから考え方を示しておかないといけないのではないかと思います。</p>	<p>いただきたいと思います。小規模特認校である母子小学校と母子幼稚園との関係は、おっしゃっていただいたように幼稚園と小学校が一体となって、建物も一緒に中も行き来できるようになっています。</p> <p>幼稚園は、社会性を持つための第一歩というところがありますが、これまでは、小学校のお兄さん、お姉さんと交流しながら、社会性を育むという部分もやっていただいていたというふうに思っております。そういった形でやってきたものもだんだんと少なくなってきたら、それも難しくなりつつあるというのも事実かなと思います。</p> <p>将来にわたって社会性を子どもさんに育てていただくような機会をつくることを考えたときに、小学校のお兄さん、お姉さんがたくさんいらっしゃる時は、いろんな意味で補完できたのかなと思いますが、それもだんだん厳しい部分も出てきているのかなというところがございます。</p> <p>そういったこともありまして、小規模特認校という特徴はありますが、幼稚園の再編についてもご提案をさせていただいています。これまで異年齢という形で幼稚園教育をさせていただいて、それで頑張って効果を上げてきたというところもありますが、それもだんだん難しくなってきたというところが残念ながらあるのかなということでございますので、そのあたりもご意見を頂戴しながら私たちも考えさせていただきたいと思います。</p>
<p>最後のところで、人数が減っているから幼稚園と小学校が手薄になっているというように取りましたが、今の母子幼稚園と小学校は、人数が少なくなっても、そこは先生方が工夫して頑張っています。認識不足ではないですか。今の小学校の子どもたちや幼稚園の子どもたちへの思いを少し変えていただかないといけない。少し違うなと思いました。地域を挙げてみんなでサポートしている。子どもが少なくなったから幼稚園と小学校が手薄になっているような思いを持っておられるなら、もう一度この地域に入り込んでいただきたい。地域の者としてお願いしておきたいと思います。</p> <p>幼稚園の再編については、反対もしませんし、前に進めてくれたらいいですけど、進むにあたっては、地域の声を大切に聞いていただきたいと思います。</p>	<p>私の言い方が言葉足らずでございました。今まで地域の方々に支えていただいた小学校と幼稚園という認識は変わりありませんし、現在もそのようにさせていただいていると思っております。</p> <p>ただ将来のことを考えると、なかなかそういった異年齢の交流も難しくなってくることもあるのではないかと思います。現在のことを否定して、それが足りなくなっているということではないということは、ご承知おきいただければと思います。引き続き地域の皆様のご意見についてもお伺いして参りたいと思いますのでよろしくお願いたします。</p>

三田市立幼稚園再編計画（案）意見交換会概要

【小野小学校：出席者数：15人】

日時：6月27日（日）15：00～16：45

	出席者の発言等（概要）	市の回答等（概要）
A	<p>最後に言われていた、2040年とか50年とかになっていますが、市街化調整区域が市街化区域になるのは全く考慮されていない表なのか、少し気になったのはその点です。</p>	<p>市街化調整区域を市街化区域にするということは前提としていない人口推計になっております。</p>
B	<p>保育園と認定こども園の違いを教えてください。</p>	<p>認可保育所というのは0歳から5歳までの保育が必要なお子さん、保護者の方の就労等で7時から18時までの間、標準としてお預かりをするのが認可保育所でございます。認定こども園は、類型がいくつかありますけれども幼稚園の機能と保育所の機能を併せ持った施設になります。幼稚園部分として、市立幼稚園と同じように午後2時までお預かりをするお子さんと保育によって18時までお預かりをするお子さん等が混在するような形で運営するものになります。</p>
C	<p>市のこういう提案は全て財政、お金が絡んでいるような気がします。市民病院の統合の問題にしても、基本的なところでお金。お金儲けのためではなく、市民の福祉のために市役所があると思います。</p> <p>市民の役に立つところが市役所と思いますが、この再編案を見ると、志手原も母子も高平も子どもの通園に凄い負担になると思います。子どもの負担があることに考えが及んでないのではないかと思います。</p> <p>一番に集団規模の確保と書いてあって、確かに集団は大事だと思いますけれども、1学級の人数が15人から30人となっていますが、これは保育園の運営の中で考えられるのではないのですか。4園合併統合することになっていますが、この4園でみんな集まって運動会するなど、集団の良いところはそれでカバーできるのではないのですか。</p> <p>まずはお金が大事、稼ぐ市役所ということがあるように聞こえますが、何かそこが間違えてないかなと思います。</p>	<p>この再編計画は財政的な観点から出てきた計画ではございません。先ほど集団は大事だとおっしゃっていただきましたけど、子どもさんが社会に出る第一歩としての幼稚園において、社会性を身につけるためには一定のそういった多様な個性に出会う機会が必要ではないか。そういう機会を多く確保したい、準備したいという観点から今回の再編計画は考え出されたものです。</p> <p>財政的な話でいきますと、幼稚園の予算は令和3年度で約3億円。もちろんこの再編によりまして、7園が2園になりますので、その部分の光熱水費などのランニングコストは当然減っていくわけですが、通園バスなど、新たに必要となる費用もあり、財政的なことを考えてやっているわけではないということです。</p> <p>集団が大事だということとを第一に、お子様が体験といいますか、学び合う機会を持っていただくという観点から考えているものです。</p> <p>この再編計画の「案」がとれて実行されるとなると、7園が2園の認定こども園になりますので、ランニングコストとしては、5園分の電気代や水道代などは減っていきます。</p> <p>一方で、幼稚園の先生が減るわけではありあせん。今は午前8時半から午後2時までの保育をさせていただいていますが、それが午前7時から午後7時までとなります。夏休みも冬休みも基本的に開いているというような形でサービスを拡充いたしますし、通園バスも運行もさせていただきます。</p> <p>経費を削減するためではなく、むしろその3億円の枠内で何とか収めながらこ</p>

		<p>ういったサービスが拡充できないかという観点で、今回の再編計画案は作られています。</p> <p>コストカットのことだけを考えれば、認定こども園にしないことも考えられるかもしれませんが、私どもは子どもさんたちの学びの機会を何とか確保したいということを考えて、集約と保育時間の拡充によりまして、より多くの子どもさんにこの認定こども園に通っていただきたい。そして集団規模を確保することによる学び合いの機会を増やしたいという観点から考えているところです。財政的なことを考えて、この再編計画案ができたのではないということをご理解いただきたいと思います。</p> <p>もう一つは、持続可能性というのがあります。これが例えば1年だけ4億かけてやってもいいというような話もあるかもしれませんが、それでは持続可能性がなくなってしまいますので、この3億円の枠の中で可能な限りサービスを拡充したいという発想で今回の再編計画案は作られています。</p>
C	<p>予算の関係ではないということの説明をお聞きしましたが、お金をいかに削減するかというのが、一番あるのではないかと私は思っています。</p> <p>単年度で幼稚園予算が3億円で、統合しても変わらない、子どもの学びを保障したいということはそのとおりですけれども、この幼児期に長距離通園になるとか、子どもの健康面などが抜けているのではないですか。もし予算が変わらないのであれば、これを維持していてもいいのではないかと思います。</p> <p>人口が減ってきたので、それを先取りして、こういうことやっているのではないかという感想を抱きますが、5歳児の子どもを母子から志手原まで毎日通園させるということは、子どもの健康上の問題についてはどうですか。</p>	<p>そういった懸念があることは十分承知をしておりますし、予算も約3億円で運営している状態で幼稚園を残したらどうかというご意見もあったかと思えます。しかし、一定の集団の中での育ちということを前提にしたときに、市立幼稚園のまま10園を残すことになると、なかなか集団というものはできにくいというところです。市立幼稚園の人数は減ってきている状況ですけれども、そもそも市立幼稚園は、その人数が少ないことを前提にして、これまで運営してきたわけではありません。</p> <p>幼稚園10園をそのままというのは、まずはその集団のお話の中から、やはりある程度考えていかないといけないというのが1点です。</p> <p>通園の負担については、おっしゃることは理解できますけれども、園区を集約再編して広くするわけですので、通園する手段の保障というのは、一定程度必要になってくると思いますので、通園バスという手法を使わせていただきたいと思っています。</p> <p>通園の時間ですけれども、母子から志手原の方に長い時間になるのではないかというお話だと思いますが、ゆっくりと走らせたとして、最長で30分から40分以内ということですので。私立認定こども園でも、お子様達を通園で通わせるにあたっては、同程度の所要時間で運用されているという実態もありますので、そういうところも参考にさせていただいているという状況です。</p>
D	<p>認定こども園の預かり保育に勤めている知り合いがいますが、子</p>	<p>今の園区の中の子どもさんの人数を踏まえた中では、認可保育所をたくさんつ</p>

	<p>どもさんが多く、過密状態で、おむつをしないといけない子どもさんから小学校入学前の子どもさんまで皆一緒に見るので、すごく大変な感じでした。そういう保育を子どもたちに過ごさせるのではなく、ちゃんとした認可保育園があるのが本当はいいと思いますが、ここ最近、幼保一元化というか、安易な保育が三田市はそれがすごく多いと思います。</p> <p>高平、母子、小野、志手原地域で認可や小規模に行っている人たちも合わせると、1号・2号・3号の子どもが38名いるような地域なので、今の幼稚園よりも保育所の方が、ニーズがあるのかなという気がします。そういった保育園を残す、新たに作るという工夫を望まれているのではないかと思います。</p> <p>費用のことは大変だと思いますが、これは将来に対する投資ですし、子どもを大切にすまちということで、このまま放っていたら三田市が5万何人の人口になっていくのを許していくというか、それを見守っているだけと感じます。そうならないために、今やらないといけない。本当にほしいと皆さんが望んでいるなら認可保育園を各地域につくったら、もっとこの地域で子育てできる状況になって、人数が増えるし、公立幼稚園も2人や7人ではなく、増えると思います。よそから来られたり、農家の方が戻ってきて子育てしたりする可能性もあるわけですから、その可能性がなくなっていく方向にはいけないと思います。</p>	<p>くっていけば、子育て世帯を呼び込んだり、人口が増えるような方策になるのではないかというご意見であったかと思います。</p> <p>今回の幼稚園再編計画案というのは、認定こども園にしたとしても過密な状況になる人数ではありません。今私たちが持っている資源を考えながら、できるところで考えています。これから先、いろいろと考えていかないといけないことが発生することはあり得るとは思いますが、今の状況を見る中では、このことにまず取り組みたいと考えております。</p>
E	<p>これは私個人、保護者としての考えですが、基本的に合併して集団で人数を増やすという点においては、条件付きではありますけど賛成の立場です。</p> <p>昨年度まで幼稚園児がいましたが、幼稚園の先生方に聞いたところでも、人数が少なすぎるとやはり教育的にもやりにくい、交流を持とうとしても今の時期なので交流ができない。実際子どもたちは、幼稚園から小学校に上がって視点が増えて、目に見えてコミュニケーション能力が上がっているような雰囲気を持ちます。ということは幼稚園の時期から人数が多い方が、利点としてあると思いますので、その点においては賛成しています。</p> <p>いくつか確認しておきたいことがあります。まず、通園の手段として、スクールバスをお考えですが、バスの台数は考えてあります</p>	<p>現時点では新設認定こども園が2園で、それぞれ2台ずつを考えているところです。</p>

	か。	
	2台という、例えば高平から志手原に向かうルートと母子から志手原に向かうルートという認識で間違いないですか。	そうです。まだ、実際に通われるお子さんの住所が確定しているわけではございませんが、そういう想定をしています。
	<p>スクールバスという点であれば、私としては問題ないと思っています。時間的にもそれほどかからない、私は乙原の北の方なので、そこから幼稚園に行くときは、車で20分ぐらいかけて走っているの、親の負担としては逆に軽くなると思います。</p> <p>もう一つは、なぜ志手原幼稚園なのか。地図が出ていますが、市街地に偏って幼稚園などができているというお話があったと思います。志手原であるとより一層、農村部から離れるのではないかと思います。広野もそうですが、立地で考えたら本庄であるとか。つつじが丘から通うのはなかなか大変だと思います。母子から志手原に通うのも大変だと思います。なぜ、志手原や広野なのか少し疑問ではあります。</p>	<p>ありがとうございます。今おっしゃられたように地図上の配置で考えたときに、位置として西なり東側でおよその中心になるところというような考え方もお持ちいただいたと思います。</p> <p>今回認定こども園にするというところで、幼稚園のお子さんと保育が必要なお子さんもあわせて考えさせていただいたときに、一般的な話になるかもしれませんが、保護者の方々がより就業先といいますか、お仕事に向かわれるというところで考えたときに、志手原や広野を提案させていただいているというのが一つです。</p> <p>つつじが丘のお話が出ましたが、つつじが丘は藍幼稚園にいらっしゃる方もあるんですけども、つつじが丘の子どもさんたちは藍幼稚園の園区ではありません。母子地域では、志手原ではなく、広野にということは考えられないのかというご意見もいただきました。基本的には集約した園区というところにはなりますが、そのあたりは検討させていただく内容かということでお答えをさせていただいています。</p> <p>繰り返しになりますが、園の位置の考え方は就業されるであろう場所に近いくところという考え方を基本にさせていただいています。</p>
F	<p>意見交換会における意見一覧というところがありますが、中学校再編での意見と、ここでの意見は共通していると思います。</p> <p>結局その説明でいうと、これからのまちづくりをどうしていくのかと、人口が減ることをどうしていくか。ニュータウンと農村部での二つ違った魅力として三田はアピールしているはずですが、これが共存できないような感じで、その二つの魅力ではいけないような将来不安があると思いながらお話を聞かせていただきました。</p> <p>今日ご説明されているのは幼稚園を担当される方が来られていて、中学校の方は中学校の説明をされる部署の方が来られている。最終的にはこの意見が出ているところというのは、全体のことはどうなっているかということを知りたいと思います。たどり着くのはいつかなと思っています。</p> <p>市は一体総合的にどう考えているのか。このまま人口が減ってい</p>	<p>人口減少につきましては、市長も人口減少にも負けないまちづくりを掲げています。時期的には、人口政策的なものとして総合戦略という名前の計画がありますが、それが令和4年度から新しいものができます。資料の人口推計以上に減らないように、あるいは減ったとしても、いつまでも活力のある三田市にしていきたい、こういう二つの方向です。人口減少があまり起こらない、仮に減ったとしても、活力のある三田市のために何ができるのかということについて今検討中です。この幼稚園再編計画案に関して、前回の意見交換会でも地域の活性化について、いろいろとご意見を頂戴していますので、市長も市全体を挙げて、地域の活性化に取り組むということで各所管にも号令をかけています。私たちもこの意見交換会に入る前には各所管の部署を集めまして、地域の活性化についての取り組みをすることになると思うのでよろしく願いますということ、庁内でもお話をさせていただきました。</p> <p>全体的な総合戦略のいわば市全体の計画と、それぞれの地域の特性がございま</p>

	<p>くという前提で、改善をしていく何か、もっと魅力的にしていく何か、その明るい方向へ向かっていく何かというのをお考えなのかということが少し気になります。少なくなってくる現実もありますが、そこが知りたいです。いつ頃に具体的にわかるのか。何年後ぐらいを考えていますというのが、だんだん伸びてきていたり、先に中学校のことがあって、幼稚園のことが後から出てきたと思います。だから、段々長くなってきていると思います。このことに関して、どう集約をしていくのか、どういう答えを市が出していくのかというのがすごく気になっています。</p>	<p>すので、地域ごとの活性化というのはそれぞれ違う部分もあるかもしれません。全体の方向性と個別の地域の方向性もあると思いますので、そういったことについては、それぞれの地域のご事情であるとか、あるいはどんな地域にしたいのかということについても、市と一緒に話をさせていただいて具体的に動かしていきたいと考えているところです。</p> <p>私たちは幼稚園の担当ですが、そういったお話については、できるだけ再編計画の実行に当たっては各所管とも共有しながら地域の皆さんとお話していきたいと思っています。</p> <p>具体的に、そのあたりをどう担保するのというところだと思いますが、計画への掲載を検討するものとして地域の活性化をあげています。再編計画を実行するにあたってどんなことに注意するかということ再編計画案の最後の方に書いていますが、地域の活性化や安全確保といったことについて、昨年、地域の皆さんからのご意見がたくさんあり、そのあたりの懸念に対して再編計画案の中で十分にお応えできていない部分もございますので、地域の活性化については、市と地域の皆さんと一緒に取り組むことについて、お約束をさせていただく形で計画案を作っていきたいと考えているところです。</p>
F	<p>しばらく待ったら、地域の皆さんがわかるような何かそういうものをお示しいただけるということで大丈夫でしょうか。地域のことであったり、小学校、幼稚園、中学校というのは、いろんな背景があり、ここにあって、その中で子どもが育って地域を形成していくものだから、一問一答みたいにされてしまうと、真意が分からないとか、どう動いてくれて、どういうところを作ろうとしているのか、どこを目指しているのかというのがわかりづらいので、もう少し地域の方が納得するような何かがあると嬉しいと思います。</p>	<p>おっしゃるとおりです。私ども今日は幼稚園の再編の関係で来させていただいていますし、また中学校のこともお話をさせていただいています。それぞれその分野ごとに今お話をさせていただいていることに事実上なっていますが、地域にお住まいになっている方々の生活というのは、幼稚園だけでもないし、中学校だけでもないし、小学校だけでもないし、農業のことだけでもない、いろんなことがあっての生活をされているということは私たちもわかっています。</p> <p>具体的にどういうことがいいのかというのは、ある地域によっては地域計画のようなものを作っておられるようなところもあります。この地域でそういったことが望ましいのか、もっと別の方向があるのかというのはいろんな議論がありうると思います。そのあたりは、庁内でも検討しながらご提案をさせていただくことになろうかと思えます。</p> <p>いずれにいたしましても、地域の皆さんがどんな地域にしていきたいのか、そして、それについて行政としてこのようなことができますということなどをご提案させていただきながら前へ進めていくという形になろうかと思えます。</p> <p>実際にいつから始まるのかということについて、私の立場ではいつからと言うことはできませんが、そういったご意見があったことについては、早いうちに庁内でも共有させていただきましますので、そちらについてはまたご連絡させていただ</p>

		くことになると思います。
A	<p>人口減少の表がこういうことですよということでしたが、資料の意見でも市街化調整区域を設定されているからであると書いています。本日の説明では、人口減少の資料は市街化調整区域のままが前提であり、解除を前提としていないという話でしたので、2065年までの44年間は市街化調整区域のままということが市の方針というふうに受け取りました。家が建たなければ、農村地域ではなかなか若い人は入ってきません。</p> <p>私は仕事の関係で東京にいますけれども、コロナの関係で神奈川や千葉はすごい勢いで住宅が求められています。東京都内23区内に会社があっても、少し遠くても一戸建てが欲しいというような中で、すごい勢いで郊外に家を求める若い人が増えてまいす。こちちの方ではどうなのかわかりませんが、市街化調整区域のままでは何ともならないですが、市は、後44年は変えない前提と言い切りましたので、それもどうするのか。自分たちが人口を増やしたいと言っているのに、天に唾を吐いているようにも取れますので、少し釘を刺しておきたいと思います。</p>	<p>ありがとうございます。市街化調整区域が設定されていることで、建築が規制されていることで新たな方々が入ってこれるところを塞いでしまっているのではないかというご意見だと思います。</p> <p>ご意見の趣旨は十分に受けとめさせていただきたいと思いますが、市街化調整区域を設定してきた経過というところもございますので、その辺は今後議論が必要かと思えます。今回は人口減少のところでその辺りのところをご説明させていただいたのは、市街化調整区域以外でも人口減少の局面が出てきているというところをご確認いただくという趣旨でしたが、新たな人たちを呼ぶためには市街化調整区域設定を外して建築をしやすいうにするというご意見があるということも、しっかりと受けとめさせていただきたいと思えます。</p>

三田市立幼稚園再編計画（案）出張意見交換会概要

出張意見交換会は、希望される方からの申し出により開催しましたが、その概要（主な意見）等は次のとおりです。

- 1 受付・開催期間：8月10日～9月30日
- 2 開催回数：6回
- 3 概要

(1) [日時]8月10日（火）10時～12時 [開催場所]高平幼稚園区内

[主な意見]

- ① 教育は人数で決まるものではない。「適正規模」という表現ではなく、公教育として三田市の考える規模と説明すべきである。意見交換をする中で、計画案の修正は、どの程度可能か。
- ② 道中の安全対策も含めて、安全確保が必要。
- ③ 今後、どのように進めるのか。

[市からの回答]

- ① 幼稚園として幼児教育をするために15人以上が望ましいというのが、三田市の公教育としての考え方であり、幼稚園を集約し、保育サービスを拡充することで規模が確保できると考える。計画の根本となる公教育としての集団規模の確保、認定こども園化について、変えることは考えていない。設置場所は、一般的に利便性が高いと考えられるところを提案しているので、ゼロベースで考えるのは難しい。
- ② 安全対策については、最善の方法を検討する。
- ③ 9月末まで出張意見交換会を開催した後、計画案の修正作業を行い、総合教育会議での議論を経て、パブリックコメントを実施する予定である。

(2) [日時]8月30日（月）13時～15時 [開催場所]高平幼稚園区内

[主な意見]

- ① 反対意見が多数の場合は、白紙撤回することはあるのか。
- ② 子育て、保育ニーズは多様化している。0～2歳児の保育ニーズに応えられるのか。
- ③ 閉園後の施設活用のアイデアがある人もいる。市と話しながら進められないか。

[市からの回答]

- ① 認定こども園化で保育ニーズに対応でき、集団規模が確保できると考える。

計画案の修正は必要であるが、白紙撤回は考えていない。

- ② この再編計画での対応は難しい。今後、引き続き検討していきたい。
- ③ 施設の活用はいろいろな可能性がある。地域の皆さんと協議しながら考えていきたい。

(3) [日時]9月4日(土)19時~20時 [開催場所]本庄幼稚園区内

[主な意見]

- ① 小・中学校の再編が先。小学校が再編されれば幼稚園の統合場所も決まる。幼・小・中とも新設されれば、みんなが納得する。
- ② 広野は交通量も多く危険。本庄の方が安全ではないか。
- ③ 今のままの幼稚園で十分と思っている。少人数には少人数の良さがある。

[市からの回答]

- ① 3歳頃から子どもは社会性が伸びてくる。その時期に、子どもたちが多くの友だちとふれ合う環境を作りたい。小・中学校に関するご意見は担当部署に伝える。
- ② 保護者の送迎車両と通園バスの動線など、安全性の確保については十分に検討する。
- ③ 少人数を否定しているわけではない。市立幼稚園では、一定の集団規模を確保して幼児教育を行うことが望ましいと考えている。

(4) [日時]9月11日(土)14時~16時 [開催場所]高平幼稚園区内

[主な意見]

- ① 市の移住施策も高平を一番にもってきているのは、市が高平を魅力のある農村部と認めているからではないのか。移住を呼び込む施策を取りながら、幼稚園をなくすのは、やっていることがバラバラではないか。
- ② 園児数が増えれば、高平幼稚園は残るのか。園児を集めるために、ニュータウンから通園バスを農村部の幼稚園に走らせてはどうか。通園バスがあれば、ニュータウンから通園する人がいるかもしれない。
- ③ 今回の再編は、対象園区の人たちのためというのが前提。2号認定の子どもも含めて園区内の人が入れないことのないようにしてほしい。
- ④ 松が丘幼稚園を残すのであれば、志手原園区は松が丘に行くこともできる。高平幼稚園を認定こども園にすれば選択肢が増える。こうした意見を市長にも知ってほしい。

[市からの回答]

- ① 共働き世帯も利用できるよう、就業先に近いアクセスのよい場所に認定こども園を作ることで、より多くのお子さんが集まる施設にしたいと考えている。そうすることで、若い世代が地域に戻ってくる、あるいは共働きでも移住してきて住みやすい地域になると考える。
- ② 仮にバスを出してニュータウンを周って園児を集めても、安定した人数を継続して確保できるかどうかの問題である。通園バスは再編対象園区の中

園補償として考えているものである。公教育は継続性が重要で、同じ環境を提供していくことが望ましい。

- ③ 現在の想定では、1号認定のお子さんは全員受け入れられると考えている。2号認定のお子さんは、保育の必要性を指数化して判断することになる。
- ④ こうした意見交換会等の内容は、市長に報告し、庁内で情報共有している。

(5) [日時]9月11日(土)17時～19時 [開催場所]志手原幼稚園区内

[主な意見]

- ① 通園バスは何台の予定か。どのようなルートか。
- ② 通園バスの降車は、小学校前のバス停を利用してはどうか。
- ③ 認定こども園化に向けた改築工事中、小野幼稚園に通うのではなく、小学校の空き教室の活用や仮設園舎の設置はできないか。
- ④ 幼稚園再編と小学校再編と紐づいてしまう。認定こども園を小学校と隣接したところではなく別のところに建設してはどうか。

[市からの回答]

- ① 東と西の認定こども園それぞれに2台ずつを予定している。具体的なルートは実際に通われるお子さんの保護者の方々と協議して決める。
- ② バス会社との協議・調整が必要である。
- ③ 選択肢の一つとしては考えられる。最適な方法を検討する。
- ④ 財政的にも新設園は難しく、既存幼稚園を活用する計画案としている。

(6) [日時]9月15日(水)14時15分～16時15分 [開催場所]本庄幼稚園区内

[主な意見]

- ① 認定こども園の設置場所は、通園バスを走らせるなら本庄でもよいのではないか。
- ② 幼稚園に集団が必要なのは理解できるが、場所が広野なのか。これから移住定住のことを考えると本庄地域に残しておくことも必要ではないか。
- ③ ニュータウンにバスを走らせて本庄幼稚園に来られるようにしたらよいのではないか。
- ④ 本庄幼稚園を残す案を考えてほしい。

[市からの回答]

- ① 認定こども園化は就労支援でもあり、共働きの方も利用できるような施設にしたいと考えている。就業する方の一般的なアクセスを考えたときにその途中にある施設を活用することがよいと考えている。
- ② 移住定住施策の観点からのご意見として庁内で共有する。
- ③ その方法では、継続的に集団規模を確保することは難しいと考える。
- ④ 幼稚園のまま残しても一定の集団規模を確保することは困難と考える。